平成 22 年 10 月 29 日

大阪府知事　橋下 徹 様

（住 所）大阪市北区扇町2-4-20
（名 称）財団法人田附興風会医学研究所北野病院
（代表者）病院長代行　光野 重根

大阪府がん診療拠点病院の現況報告書の提出について

標記について、「大阪府がん診療拠点病院設置要綱」に基づき、別添関係書類を添えて、現況報告書を提出します。

＜指定申請:提出資料一覧＞

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

		頁
【大阪府がん診療拠点病院　新規指定（様式）】		
様式1	（指定） 連絡先	2
様式2	（指定） 病院概要	3
様式3	（指定） 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について	11
【添付資料】		
資料番号	様式　内　容	
別紙1	（指定） 保有する放射線診療機器等の一覧	15
別紙2	（指定） 高度医療への対応状況 （がんに関するもの）	17
別紙3	（指定） 放射線療法を連携する医療機関	18
別紙4	（指定） 診療機能（専門分野等）	19
別紙5	（指定） 院内クリティカルパス	31
別紙6	（指定） 化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	33
別紙7	（指定） 外来化学療法室に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	34
別紙8	（指定） 放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	36
別紙9	（指定） 緩和ケアチームの組織・体制	37
別紙10	（指定） 緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	38
別紙11	（指定） 外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	39
別紙12	（指定） 緩和ケアチームに対する新規診療依頼症例	40
別紙13	（指定） 緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	42
別紙14	（指定） 緩和ケアに関する広報	44
別紙15	（指定） 緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	45
別紙16	（指定） 病理診断について協力を得られる医療機関	46
別紙17	（指定） 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	47
別紙18	（指定） 地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制	48
別紙19	（指定） 地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	50
別紙20	（指定） 5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	51
別紙21	（指定） セカンドオピニオンに関する情報提供	56
別紙22	（指定） がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	57
別紙23	（指定） 国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況	58
別紙24	（指定） 国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況	59
別紙25	（指定） 国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況	60
別紙26	（指定） 相談支援窓口の相談対応状況	61
別紙27	（指定） 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	62
別紙28	（指定） がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	63
別紙29	（指定） 院内がん登録の登録実施項目	66
別紙30	（指定） 患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況	67
別紙31	（指定） 府民へのメッセージ	68

大阪府がん診療拠点病院　新規指定・指定更新推薦書・現況報告書

平成22年9月1日時点について記載

1. 新規・更新の別　（1）新規指定　（2）指定更新[指定年月日：平成　年　月　日]　（3）現況報告

※該当する項目を□で囲むこと。

2. 病院概要

(1)病院名（表紙シートの病院名を反映）	財団法人田附興風会医学研究所北野病院	
(2)所在地等		
郵便番号	530-8480	
住所	大阪府　大阪市　北区　扇町　2－4－20	
電話番号(代表)	06-6312-1221	
FAX番号（代表）	06-6361-0588	
e-mail（代表）	webmaster@kitano-hp.or.jp	
HPｱﾄﾞﾚｽ	http://www.kitano-hp.or.jp	
所属2次医療圏	大阪市	
(3)開設		
①開設者	光山　正雄	
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	平成13年9月1日	
(4)アクセス情報		
①鉄道	JR線「天満駅」から徒歩約7分、地下鉄堺筋線「扇町駅」から徒歩約5分 地下鉄谷町線「中崎町駅」から徒歩約5分	
②バス	大阪市バス「天神橋5丁目」「太融寺町」「扇町」バス停から徒歩約5分 コミュニティバス赤バス「中崎一丁目」より徒歩2分	
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速守口線　扇町出口から　3分	
④駐車場	170	台
(5)面積		
①土地	11405.21	㎡
②建物	64840.33	㎡
(6)診療時間		
①外来診療受付時間	月曜～金曜　8時45分～11時30分、13時30分～14時30分　土曜　8時45分～11時30分	
②外来診療時間	月曜～金曜　9時00分～12時00分、13時00分～16時45分　土曜　9時00分～12時00分	
③休診日	毎週日曜日、その他(祝日、第2土曜日、年末年始（12/29－1/3）)	
④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要	（すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要）
⑤初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要	（すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要）

(7)診療科

開設診療科名（医療法施行令第3条の2（法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名））を以下に記載

開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL　http://www.kitano-hp.or.jp/section/index.html

内科	あり	（あり・休診中・なし）
呼吸器内科	あり	（あり・休診中・なし）
循環器内科	あり	（あり・休診中・なし）
消化器内科	あり	（あり・休診中・なし）
心臓内科	なし	（あり・休診中・なし）
血液内科	あり	（あり・休診中・なし）
気管食道内科	なし	（あり・休診中・なし）
胃腸内科	なし	（あり・休診中・なし）
腫瘍内科	なし	（あり・休診中・なし）
糖尿病内科	なし	（あり・休診中・なし）
代謝内科	なし	（あり・休診中・なし）
内分泌内科	なし	（あり・休診中・なし）
脂質代謝内科	なし	（あり・休診中・なし）
腎臓内科	あり	（あり・休診中・なし）
神経内科	あり	（あり・休診中・なし）
心療内科	あり	（あり・休診中・なし）
感染症内科	なし	（あり・休診中・なし）
漢方内科	なし	（あり・休診中・なし）
老年内科	なし	（あり・休診中・なし）
女性内科	なし	（あり・休診中・なし）
新生児内科	なし	（あり・休診中・なし）
性感染症内科	なし	（あり・休診中・なし）
内視鏡内科	なし	（あり・休診中・なし）
人工透析内科	なし	（あり・休診中・なし）
疼痛緩和内科	なし	（あり・休診中・なし）
ペインクリニック内科	なし	（あり・休診中・なし）
アレルギー疾患内科	なし	（あり・休診中・なし）
内科(ペインクリニック)	なし	（あり・休診中・なし）
内科(循環器)	なし	（あり・休診中・なし）
内科(薬物療法)	なし	（あり・休診中・なし）
内科(感染症)	なし	（あり・休診中・なし）
内科(骨髄移植)	なし	（あり・休診中・なし）
外科	あり	（あり・休診中・なし）
呼吸器外科	あり	（あり・休診中・なし）
心臓血管外科	あり	（あり・休診中・なし）
心臓外科	なし	（あり・休診中・なし）
消化器外科	あり	（あり・休診中・なし）

	乳腺外科	あり	(あり・休診中・なし)
	小児外科	あり	(あり・休診中・なし)
	気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
	肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
	整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
	脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
	形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
	美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
	腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
	移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
	頭頸部外科	あり	(あり・休診中・なし)
	胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
	腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
	肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
	膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
	胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
	食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
	胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
	大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
	内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
	ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
	外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
	外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
	精神科	あり	(あり・休診中・なし)
	アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
	リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児科	あり	(あり・休診中・なし)
	皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
	泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
	産婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
	産科	なし	(あり・休診中・なし)
	婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
	眼科	あり	(あり・休診中・なし)
	耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
	リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
	放射線科	あり	(あり・休診中・なし)
	放射線診断科	なし	(あり・休診中・なし)
	放射線治療科	なし	(あり・休診中・なし)
	病理診断科	あり	(あり・休診中・なし)
	臨床検査科	あり	(あり・休診中・なし)
	救急科	あり	(あり・休診中・なし)
	児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
	老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
	気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
	腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
	男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
	神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児科(新生児)	なし	(あり・休診中・なし)
	泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
	泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
	産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
	美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
	歯科	なし	(あり・休診中・なし)
	小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
	矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
	歯科口腔外科	なし	(あり・休診中・なし)
	呼吸器科	なし	(あり・休診中・なし)
	循環器科	なし	(あり・休診中・なし)
	消化器科	なし	(あり・休診中・なし)
	精神神経科	なし	(あり・休診中・なし)

神経科		なし	(あり・休診中・なし)
麻酔科		あり	(あり・休診中・なし)
緩和ケア科		なし	(あり・休診中・なし)
緩和医療科		なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・糖尿病内科		なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・代謝内科		なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・内分泌内科		あり	(あり・休診中・なし)
糖尿病・代謝内科		なし	(あり・休診中・なし)
肝臓内科		なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管内科		なし	(あり・休診中・なし)
緩和ケア内科		なし	(あり・休診中・なし)
化学療法科		なし	(あり・休診中・なし)
総合内科			(あり・休診中・なし)
総合診療科			(あり・休診中・なし)
乳腺・内分泌外科		なし	(あり・休診中・なし)
血管外科		なし	(あり・休診中・なし)
血液・腫瘍内科		なし	(あり・休診中・なし)
気管・食道科		なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ膠原病内	科	あり	(あり・休診中・なし)
感染症内科	科	あり	(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)
	科		(あり・休診中・なし)

(8)病床数等 （平成22年9月1日時点）

①病床数

総数	707	床
うち療養病床	0	床
うち一般病床	687	床
うち特別療養環境室としている病床	340	床

②診療機器の保有状況等	別紙1	
X線CT装置	2	台
うちマルチスライスCT装置	2	台
MRI装置	4	台
核医学検査装置	2	台
うちPET（陽電子断層撮影）検査装置	0	台
血管造影撮影装置	2	台
放射線治療装置 （リニアック又はマイクロトロンに限る）	2	台
バーチャルスライド装置	0	台

(9)診療報酬に係る施設基準等

①施設基準を取得した病床数

一般病棟入院基本料(A100)	603	床
療養病棟入院基本料(A101)	0	床
特定機能病院入院基本料(A104)	0	床
専門病院入院基本料(A105)	0	床
救命救急入院料(A300)	0	床
特定集中治療室管理料(A301)	12	床
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	0	床
小児入院医療管理料1(A3071)	38	床
小児入院医療管理料2(A3072)	0	床
小児入院医療管理料3(A3073)	0	床
回復期リハビリテーション入院料(A308)	0	床
亜急性期入院医療管理料(A308-2)	0	床
特殊疾患療養病棟入院料(A309)	0	床
緩和ケア病棟入院料(A310)	0	床

②届出された先進医療の状況等

先進医療への対応状況（がんに関するもの）	別紙2

③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月−平成22年8月の集計)

DPC対象病院			はい		（はい・いいえ）
DPC準備病院（H22年度調査参加）			いいえ		（はい・いいえ）
がん診療連携拠点病院加算（A232）	なし	（あり、なし）	0	件	入院1回
退院時共同指導料2 （B005）	あり	（あり、なし）	24	件	入院中1回
緩和ケア診療加算 （A226−2）	なし	（あり、なし）	1,379	件	1日につき
緩和ケア病棟入院料（A310）	なし	（あり、なし）	0	件	1日につき
麻薬管理指導加算 （B008）	あり	（あり、なし）	53	件	1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料 （B001−22）	あり	（あり、なし）	92	件	月1回
リンパ浮腫指導管理料(B001−7)	あり	（あり、なし）	107	件	入院中1回
外来化学療法加算 I（第6部 通則）	あり	（あり、なし）	6,353	件	1日につき
外来化学療法加算 II（第6部 通則）	なし	（あり、なし）	0	件	1日につき
診療録管理体制加算 （A207）	あり	（あり、なし）	12,093	件	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上）
医師事務作業補助体制加算 （A207−2）	あり	（あり、なし）	14,416	件	入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上）
栄養管理実施加算 （A233）	あり	（あり、なし）	227,325	件	1日につき
医療安全対策加算 （A234）	あり	（あり、なし）	14,550	件	入院初日
退院調整加算 （A238）	あり	（あり、なし）	1	件	入院時1回、退院時1回
救命救急入院料1（A300）	なし	（あり、なし）	0	件	1日につき
救命救急入院料2（A300）	なし	（あり、なし）	0	件	1日につき
特定集中治療室管理料 （A301）	あり	（あり、なし）	4,685	件	1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料 （A301−2）	なし	（あり、なし）	0	件	1日につき
ニコチン依存症管理料 （B001−3−2）	あり	（あり、なし）	784	件	診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし	（あり、なし）			件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料（計画策定病院） （B005-	あり	（あり、なし）	2	件	退院時1回
薬剤管理指導料 （B008）	あり	（あり、なし）	21,026	件	週1回
医療機器安全管理料 （B011−4）	あり	（あり、なし）	1,432	件	1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(III)（D026）	なし	（あり、なし）	8,852	件	月1回
遺伝カウンセリング加算（D026）	なし	（あり、なし）	0	件	月1回
画像診断管理加算2（第4部 通則）	あり	（あり、なし）	37,848	件	月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	あり	（あり、なし）	32,188	件	月1回
ポジトロン断層撮影 （E101−2）	なし	（あり、なし）	0	件	一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準 （E101−	なし	（あり、なし）	0	件	一連につき1回
無菌製剤処理料1 （G020）	あり	（あり、なし）	6,931	件	1日につき
輸血管理料 I （K920−2）	あり	（あり、なし）	1,696	件	月1回
輸血管理料 II （K920−2）	なし	（あり、なし）	0	件	月1回
放射線治療管理料 （M000）	あり	（あり、なし）	577	件	分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算 （M000）	あり	（あり、なし）	577	件	1日につき
外来放射線治療加算 （M000）	あり	（あり、なし）	5,645	件	1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準 （M001）	あり	（あり、なし）	8,791	件	1回
強度変調放射線治療（IMRT）の施設基準 （M000）	なし	（あり、なし）	0	件	1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準（M001−3）	あり	（あり、なし）	31	件	1回
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製料（N003）	なし	（あり、なし）	0	件	1手術につき
がん患者カウンセリング料 （B001−23）	あり	（あり、なし）	1	件	1回

(10)職員数	総職員数（事務職員含む）	1,326	人

・常勤医師数：「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない（「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知）の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照）。

①職種別内訳

※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。

	非常勤 ※（常勤換算）		常勤	
医師	12.4	人	244	人
歯科医師	0	人	0	人
薬剤師	0	人	27	人
保健師	0	人	0	人
助産師	0	人	33	人
看護師	6.6	人	642	人
准看護師	0.6	人	8	人
理学療法士	0.3	人	9	人
作業療法士	0	人	4	人
視能訓練士	0	人	8	人
言語聴覚士	0	人	3	人
義肢装具士	0	人	0	人

歯科衛生士	0	人	0	人
歯科技工士	0	人	0	人
診療放射線技師	0	人	37	人
臨床検査技師	0	人	56	人
衛生検査技師	0	人	1	人
臨床工学技士	0	人	13	人
管理栄養士	0	人	6	人
栄養士	0	人	0	人
社会福祉士	0	人	3	人
精神保健福祉士	0	人	2	人
介護福祉士	0	人	0	人
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。	非常勤			
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について	※(常勤換算)		常勤	
(社) 日本整形外科学会　整形外科専門医	0	人	5	人
(社) 日本皮膚科学会　皮膚科専門医	0	人	2	人
(社) 日本麻酔科学会　麻酔科専門医	3	人	3	人
(社) 日本医学放射線学会　放射線診断専門医	1	人	6	人
(社) 日本医学放射線学会　放射線治療専門医	0	人	0	人
(財) 日本眼科学会　眼科専門医	0	人	3	人
(社) 日本産科婦人科学会　産婦人科専門医	2	人	8	人
(社) 日本耳鼻咽喉科学会　耳鼻咽喉科専門医	0	人	4	人
(社) 日本泌尿器科学会　泌尿器科専門医	0	人	3	人
(社) 日本形成外科学会　形成外科専門医	3	人	2	人
(社) 日本病理学会　病理専門医	0	人	2	人
(社) 日本内科学会　総合内科専門医	3	人	20	人
(社) 日本外科学会　外科専門医	0	人	15	人
(社) 日本肝臓学会　肝臓専門医	0	人	3	人
(社) 日本感染症学会　感染症専門医	0	人	1	人
(社) 日本血液学会　血液専門医	0	人	5	人
(社) 日本呼吸器学会　呼吸器専門医	2	人	6	人
(財) 日本消化器病学会　消化器病専門医	0	人	8	人
(社) 日本腎臓学会　腎臓専門医	1	人	4	人
(社) 日本小児科学会　小児科専門医	1	人	9	人
有限責任中間法人　日本消化器外科学会　消化器外科専門医	0	人	1	人
(社) 日本超音波医学会　超音波専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人　日本臨床細胞学会　細胞診専門医	0	人	1	人
(社) 日本脳神経外科学会　脳神経外科専門医	0	人	9	人
(社) 日本リハビリテーション医学会　リハビリテーション科専門医	0	人	0	人
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医	0	人	2	人
(社) 日本消化器内視鏡学会　消化器内視鏡専門医	0	人	5	人
特定非営利活動法人　日本小児外科学会　小児外科専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人　日本乳癌学会　乳腺専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人　日本レーザー医学会　レーザー専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人　日本呼吸器内視鏡学会　気管支鏡専門医	0	人	2	人
有限責任中間法人　日本核医学会　核医学専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人　日本気管食道科学会　気管食道科専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人　日本大腸肛門病学会　大腸肛門病専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人　日本婦人科腫瘍学会　婦人科腫瘍専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人　日本ペインクリニック学会　ペインクリニック専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人　日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人　日本総合病院精神医学会　一般病院精神医学専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会　専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会　暫定指導医	0	人	0	人
がん治療認定医機構　がん治療認定医	0	人	13	人
日本放射線腫瘍学会　認定医	0	人	0	人
(社) 日本精神神経学会　精神科専門医	0	人	1	人
(社)日本泌尿器科学会/日本Endourology・ESWL学会　泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	3	人
日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科領域　技術認定所得者	0	人	0	人
日本内視鏡外科学会　泌尿器科領域　技術認定所得者	0	人	0	人
日本IVR学会IVR　専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人　日本核医学会　PET核医学認定医	0	人	0	人
NPO法人ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ検診精度管理中央委員会　検診ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ読影認定医師A評価	0	人	0	人
NPO法人ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ検診精度管理中央委員会　検診ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ読影認定医師B評価	0	人	2	人
その他学会・専門医等(記載は10個まで　暫定指導医、暫定教育医等は記載しないこと)				
日本救急医学会専門医	0	人	2	人
胸部外科学会指導医	0	人	1	人
日本消化器外科学会専門医	0	人	5	人
日本肝胆膵外科学会高度技術指導医	0	人	1	人
日本小児神経学会認定小児神経専門医	0	人	1	人
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医	0	人	1	人
日本リウマチ学会専門医	0	人	4	人
日本神経学会専門医	0	人	5	人
日本脳神経血管内治療学会専門医	1	人	1	人
日本透析医学会認定専門医	1	人	4	人

歯科医師				
（社）日本口腔外科学会　口腔外科専門医	0	人	0	人
（社）日本病理学会　口腔病理専門医	0	人	0	人
看護師				
（社）日本看護協会　がん看護専門看護師	0	人	0	人
（社）日本看護協会　がん化学療法看護認定看護師	0	人	2	人
（社）日本看護協会　がん性疼痛看護認定看護師	0	人	0	人
（社）日本看護協会　乳がん看護認定看護師	0	人	0	人
（社）日本看護協会　緩和ケア認定看護師	0	人	1	人
（社）日本看護協会　皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	2	人
（社）日本看護協会　摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	0	人
（社）日本看護協会　手術看護認定看護師	0	人	0	人
IVR学会認定看護師	0	人	0	人
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者	※（常勤換算）		常勤	
日本医療薬学会　がん専門薬剤師	0	人	2	人
日本病院薬剤師会　がん薬物療法認定薬剤師	0	人	0	人
日本病院薬剤師会　がん専門薬剤師	0	人	1	人
日本薬剤師研修センター　研修認定薬剤師	0	人	1	人
日本臨床細胞学会　細胞検査士	0	人	7	人
NPO法人ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ検診精度管理中央委員会　検診ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ撮影診療放射線技	0	人	6	人
日本医学放射線学会　医学物理士	0	人	0	人
放射線治療品質管理機構　放射線治療品質管理士	0	人	1	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	1	人
四病院団体協議会／医療研修推進財団　診療情報管理士	0	人	9	人
その他				
		人		人
		人		人
		人		人
④その他の従事者				
医療ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士以外）	0	人	0	人
診療録管理部門の職員	0	人	18	人
医療心理に携わる者	0	人	2	人
治験コーディネーター	10	人	0	人
データマネージャー　（医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、 データの品質管理を担うデータマネージメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。）	0	人	6	人
生物統計家　（統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学研究の研究デザインやデータの統計解析を担当する。）	1	人	10	人
医師事務作業補助者	0	人	47	人
看護業務補助者	0	人	52	人

(11)その他 （平成22年9月1日現在）

①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認あり	（承認あり、承認なし）
開放型病院			承認あり	（承認あり、承認なし）
②夜間（深夜も含む）救急対応の可否			可	（可、否）
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	（あり、なし）　年	12	回開催
治験審査委員会	あり	（あり、なし）　年	12	回開催
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダ			あり	（あり、なし）
処方オーダ			あり	（あり、なし）
診療予約オーダ			あり	（あり、なし）
入院病名オーダ			あり	（あり、なし）
外来病名オーダ			あり	（あり、なし）
電子カルテ			あり	（あり、なし）
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	（はい・いいえ）
ICD-10を外来病名管理に利用している			はい	（はい・いいえ）
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			あり	（あり、なし）
遠隔病理診断			あり	（あり、なし）
在宅療養支援			あり	（あり、なし）
外来診察室におけるインターネット環境			あり	（あり、なし）
病棟におけるインターネット環境			あり	（あり、なし）

(12)患者数・診療件数の状況

① 患者数等

年間新入院のべ患者数（平成21年1月1日～12月31日）	16,210	人
年間新入院のべがん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	1,401	人
年間新入院のべ患者数に占めるがん患者の割合	8.6%	
年間外来のべがん患者延数（平成21年1月1日～12月31日）※3	12,336	人
年間院内死亡がん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	196	人
新入院のべ患者数（原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者。）	5,616	人
うちのべがん患者数	1,064	人
（新入院患者数に占めるがん患者の割合）	18.9%	
うちのべ肺がん患者数（ICD-10コード C34$）	153	人
うちのべ胃がん患者数（ICD-10コード C16$）	99	人
うちのべ大腸がん（直腸がんを含む）患者数（ICD-10コード C18$、C19、C20）	97	人
うちのべ肝臓がん患者数（ICD-10コード C22$）	86	人
うちのべ乳がん患者数（ICD-10コード C50$）	114	人

＊
※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。
※2 $ は以下の分類をすべて含んでいる。
※3 年間外来のべがん患者延数は、÷当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者ののべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。
※4 新入院のべ(がん)患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。

② 麻酔及び手術等の状況（平成22年4月1日～7月31日）

全身麻酔(静脈麻酔は除く)	1,070	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数	401	件
イ 肺がん(C34$)の手術件数		
開胸手術 K511$、K514$、K518$	17	件
胸腔鏡下手術 K514-2$	14	件
ウ 胃がん(C16$)の手術件数		
開腹手術 K654-2、K6552、K655-42、K6572	14	件
腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K657-22	8	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	13	件
エ 大腸がん(C18$、C19、C20)の手術件数		
開腹手術 K7193、K739$、K740$、K748$	25	件
腹腔鏡下手術 K719-2$、K719-3、K740-2$	21	件
内視鏡手術 K7211	1	件
オ 肝臓がん(C22$)の手術件数		
開腹手術 K695$	1	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	24	件
カ 乳がん(C50$)の手術件数		
手術 K476$	49	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474$	24	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	47	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514$、K5182、K511$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2$、K513	2	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695$	6	件

③ 放射線治療

※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。

ア-1 のべ患者実数（平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）

例：平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。

体外照射	462	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	30	人
定位照射(体幹部)	0	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	0	人

ア-2 のべ患者実数（平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数）

例：平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。

＜入院＞		
肺がん	22	人
胃がん	0	人
肝がん	3	人
大腸がん	1	人
乳がん	2	人
＜外来＞		
肺がん	1	人
胃がん	1	人
肝がん	2	人
大腸がん	4	人
乳がん	48	人

イ-1 照射回数 （平成22年4月1日～7月31日ののべ照射回数）		
体外照射	3,263	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	17	回
定位照射(体幹部)	13	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	0	回
イ-2 のべ照射回数 （平成22年4月1日～7月31日）		
＜入院＞		
肺がん	271	回
胃がん	0	回
肝がん	31	回
大腸がん	15	回
乳がん	20	回
＜外来＞		
肺がん	13	回
胃がん	25	回
肝がん	20	回
大腸がん	70	回
乳がん	1,215	回
④ がんに係る化学療法 （平成22年4月1日～7月31日		
ア のべ患者数 （化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、エトポシド＋シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
＜入院＞	232	人
＜外来＞	339	人
イ のべ処方件数 （抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
＜入院＞	1,938	件
＜外来＞	3,046	件
⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断（平成21年1月1日～12月31日）	8,831	件
細胞診診断（平成21年1月1日～12月31日）	11,831	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査（平成21年1月1日～12月31日）	669	件
剖検（平成21年1月1日～平成21年12月31日）	18	件
剖検率（平成21年1月1日～平成21年12月31日）	4	%
イ 画像診断等の件数 （平成21年1月1日～12月31日）		
上部消化管内視鏡検査	5,182	件
気管支内視鏡検査	594	件
大腸内視鏡検査	1,845	件
血管連続撮影	1,462	件
スパイラルCT検査	27,118	件
CTガイド下生検	78	件
MRI検査	19,509	件
RI診断検査（シンチグラム）	421	件
シングルフォトンエミッションCT（SPECT）検査	1,952	件
PET（陽電子断層撮影）検査	0	件

3. 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について

#REF!

指定要件での扱い
A:必須
B:原則必須
C:対応することが望ましい
ー:指定要件に記載なし

1. 診療体制					
(1)診療機能					
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供					
機能					
ア	5大がんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 ＊「5大がん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 ＊「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療をいう。 ＊「放射線療法」については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可とする。 ＊「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A		はい	（はい・いいえ）
	放射線療法について、他の医療機関との連携によって対応する場合、放射線療法を連携する医療機関名について別紙3に記入すること。	A		別紙3	
イ	5大がん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A		はい	（はい・いいえ）
ウ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙4に記載すること。	A		別紙4	
エ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備している。 ＊「院内クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A		はい	（はい・いいえ）
オ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備状況を別紙5に記載すること。	A		別紙5	
カ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボードを設置している。 ＊ キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C		はい	（はい・いいえ）
② がん化学療法の提供体制					
機能					
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C		はい	（はい・いいえ）
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 ＊「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C		はい	（はい・いいえ）
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、キャンサーボードと連携協力している。	C		はい	（はい・いいえ）
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	C		別紙6	
診療従事者					
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A		23	人
イ	うち常勤	B		23	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	C		1	人
エ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専任薬剤師数	1人以上A		1	人
オ	外来化学療法室（外来化学療法室を整備しない医療機関にあっては、外来において化学療法を提供する体制）における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A		2	人
カ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	－		別紙7	
③ 放射線療法の提供体制（**放射線療法について他の医療機関との連携によってのみ対応する場合は、記入不要**）					
診療従事者					
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A		3	人
イ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A		4	人
ウ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤専任技術者等の人数	1人以上A		1	人
エ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	－		別紙8	

④ 緩和ケアの提供体制					
機能					
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A		別紙9	
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順を別紙10に記載すること。	A		別紙10	
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C		はい	
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	C		0	人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記載すること。	C		別紙11	
オ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A		はい	（はい・いいえ）
カ	緩和ケアチームに関する実績について別紙12に記入すること。	A		別紙12	
カ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	A		別紙13	
キ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A		はい	（はい・いいえ）
ク	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	－			
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	－		はい	（はい・いいえ）
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	－		はい	（はい・いいえ）
	3.ホームページに掲載している。	－		はい	（はい・いいえ）
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	－		http://www.kitano-hp.or.jp/local/kanwa_care.html	
	4.その他の方法で掲載している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
		－		具体的に	
ケ	緩和ケアチームに関する広報状況（院内掲示）について別紙14に記入すること。	A		別紙14	
コ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A		はい	（はい・いいえ）
サ	国拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関との連携協力体制を整備に協力している。 *「国拠点病院」とは、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院をいう。	A		はい	（はい・いいえ）
シ	緩和ケア病床数 （緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない）			0	床
ス	緩和ケア病棟を有している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
セ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。（院内で統一した疼痛の評価尺度がある）	－		はい	（はい・いいえ）
診療従事者					
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A		5	人
イ	うち常勤	1人以上B		5	人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	1人以上C		0	人
エ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	C		3	人
オ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A		3	人
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C		1	人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C		1	人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	－		別紙15	
⑤ 病理診断（**病理診断について、他の医療機関から協力を得られることによって対応する場合は、体制のみ記入。機能以降の項目は記入不要**）					
体制					
ア	専従の病理診断に携わる医師を1人以上配置するか、又は他の医療機関から協力を得られる体制が確保されている。	A		はい	（はい・いいえ）
	病理診断について、他の医療機関から協力が得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙16に記入すること。	A		別紙16	
機能					
ア	診断のダブルチェックを行っている。	－		はい	（はい・いいえ）
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	－		はい	（はい・いいえ）
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	－		はい	（はい・いいえ）
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	－		はい	（はい・いいえ）
診療従事者					
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A		3	人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C		5	人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙17に記載すること	－		別紙17	

⑥ 病病連携・病診連携の協力体制					
ア	国拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A		はい	（はい・いいえ）
ウ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	－		別紙18	
ウ	地域の医療機関との連携協力体制の整備について、別紙19に記載すること。	－		別紙19	
エ	国拠点病院が行う地域連携クリティカルパスの整備に協力する体制を整備している。 ＊「地域連携クリティカルパス」とは、国拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A		はい	（はい・いいえ）
⑦ セカンドオピニオンの提示体制					
ア	5大がんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 ＊「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙20に記載すること。	A		別紙20	
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段	－			
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	－		はい	（はい・いいえ）
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	－		はい	（はい・いいえ）
	3.ホームページに掲載している。	－		はい	（はい・いいえ）
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	－		http://www.kitano-hp.or.jp/local/soudan.html#s	
	4.その他の方法で掲載している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
		－		具体的に	
エ	セカンドオピニンに関する詳細情報を別紙21に記載すること。	－		別紙21	
⑧ その他					
スタッフのサポート体制					
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C		はい	（はい・いいえ）
イ	大阪府がん診療拠点病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A		はい	（はい・いいえ）
リンパ浮腫の診療					
ア	リンパ浮腫外来がある。	－		はい	（はい・いいえ）
	担当科			形成外科	
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
（2）医療施設					
① 年間入院がん患者数					
ア	年間入院がん患者数（1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。）が概ね500人以上である。	A		はい	（はい・いいえ）
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置					
ア	放射線療法を行う場合は、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	外来化学療法室を設置している。	C		はい	（はい・いいえ）
ウ	集中治療室を設置している。	C		はい	（はい・いいえ）
エ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C		はい	（はい・いいえ）
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙22に記載すること。	―		別紙22	
③ 敷地内禁煙等					
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A		はい	（はい・いいえ）
イ	禁煙の状況	―		敷地内を全面禁煙	（敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他（　　））
ウ	禁煙外来を実施している。	―		はい	（はい・いいえ）
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」（平成15年）に準拠している	―		はい	（はい・いいえ）

2 研修の実施体制				
(1) 国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加する。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成20年4月1日付け健発第0401016号）に準拠した研修である。	A		はい	（はい・いいえ）
国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修への協力及び参加状況について、別紙23に記載すること。	―		別紙23	
(2) （1）のほか、国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加する。	A		はい	（はい・いいえ）
国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	―		別紙24	
(3) 国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加する。	A		はい	（はい・いいえ）
国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況について、別紙25に記載すること。	―		別紙25	
3 情報の収集提供体制				
（1）相談支援機能				
① 院内に相談支援機能を有する窓口（以下「相談支援窓口」）を設置している。	A		はい	（はい・いいえ）
② 当該窓口に配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A		1	人
③ 当該窓口は、国拠点病院と連携して患者、家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A		はい	（はい・いいえ）
④ 相談支援窓口の相談対応状況を別紙26に記載すること。	―		別紙26	
⑤ 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙27に記載すること。	―		別紙27	
⑥ 自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	―		311	件
ア 対面相談			212	件
イ 電話相談			95	件
ウ fax相談			0	件
エ e-mail相談			4	件
⑦ 自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方等の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	―		10	件
ア 対面相談			3	件
イ 電話相談			6	件
ウ fax相談			1	件
エ e-mail相談			0	件
相談件数合計			321	
⑧ 各種対応窓口について別紙28に記載すること。	―		別紙28	
（2）院内がん登録				
① 院内がん登録を実施している。	A		はい	（はい・いいえ）
② 国が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	C		はい	（はい・いいえ）
院内がん登録の登録項目数	－		59	項目
院内がん登録の登録実施項目について、別紙29に記載すること。	－		別紙29	
③ 院内がん登録を活用することにより、大阪府が行う地域がん登録事業にデータを提供する。	A		はい	（はい・いいえ）
（3）その他				
① 臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。			はい	（はい・いいえ）
ア 進行中の臨床研究（治験を除く。以下同じ。）の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	－		はい	（はい・いいえ）
1 院内の見やすい場所に掲示している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
2 院内誌、チラシ等で広報している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
3 ホームページに掲載している。	－		はい	（はい・いいえ）
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	－		http://www.kitano-hp.or.jp/kenkyu/top.html	
4 その他の方法で掲載している。	－		はい	（はい・いいえ）
	－		事業計画書	
イ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
1 院内の見やすい場所に掲示している。	－		はい	（はい・いいえ）
2 院内誌、チラシ等で広報している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
3 ホームページに掲載している。	－		はい	（はい・いいえ）
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	－		http://www.kitano-hp.or.jp/section/yakuzai/chiken_index	
4 その他の方法で掲載している。	―		いいえ	（はい・いいえ）
			具体的に	
ウ 院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	－		はい	（はい・いいえ）
窓口で対応している。	－		はい	（はい・いいえ）
電話で対応している。	－		はい	（はい・いいえ）
FAXで対応している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
e-mailで対応している。	－		いいえ	（はい・いいえ）
② その他の情報提供等				
ア 患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	－		はい	（はい・いいえ）
イ 府民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	－		はい	（はい・いいえ）
ウ 患者・府民向け講演会を定期的に開催している。	－		はい	（はい・いいえ）
エ 患者・府民向け講演会の実施情報について、別紙27に記載すること。	－		別紙30	
③ 府民へのメッセージ				
ア HP公開用の府民へのメッセージを別紙31に記載すること。	－		別紙31	

（別紙1）

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 亀会医学研究所北野病院

平成22年9月1日現在

コンピュータ断層撮影装置（CT）

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
（例）	○社	ABC-12	2005. 10. 1	8列
1	東芝	TSX-101A	2008. 5. 3	64列
2	東芝	TSX-101A	2008. 7. 19	64列
3				
4				
5				
6				
7				
8				

磁気共鳴断層撮影装置（MRI）

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度（テスラ数）
（例）	○社	ABC-12	2005. 10. 1	1.5T
1	PHILIPS	Achieva 3.0TTX	2007.08.10	3.0T
2	PHILIPS	Achieva 1.5T A-series	2010.04.05	1.5T
3	PHILIPS	Intera1.5T Master	2001.10.09	1.5T
4	PHILIPS	Achieva 1.5T A-series	2005.07.01	1.5T
5				
6				

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考（性能など）
（例）	PET装置	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	RI検査装置	PHILIPS	Bright View	2010.03.14	
2	RI検査装置	ADAC	Forte	2001.09.01	
3					
4					
5					

血管造影連続撮影検査（または IVR専用）に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考（性能など）
（例）	DSA	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	心臓ｶﾃｰﾃﾙ装置	東芝	XTP-8100 G	2009.06.10	
2	DSA	PHILIPS	AlluraXperFD20/10	2007.07.18	
3					
4					
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2005. 10. 1	6MV、10MV	有
1	リニアック	(株)三菱	MHCL-15DP	2001.10.30	4MV　10MV	有
2	リニアック	(株)三菱	CRS-6000	2001.10.30	6MV	無
3						

小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1		
1					
2					
3					

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2002.10.1		
1	GE・横河	Hispeed NX/i	1999.08.09		
2					
3					

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日		
(例)	○社	ABC-12	2006.10.1		
1	日立メディコ	ピナクル	2007.11.01		
2	日立メディコ	ピナクル	2007.11.01		
3	日立メディコ	ピナクル	2007.11.01		

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2007.3.1
1			
2			
3			

（別紙２）

高度医療への対応状況 （がんに関するもの）

	高度医療技術名	第２項／第３項（※）	承認年月日	実施件数（平成22年4月～8月）	担当診療科名
1	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	第２項	2010年5月1日	4	消化器内科
2	抗悪性腫瘍剤感受性検査（HDRA法又はCD－DST法）	第２項	2010年6月1日	1	呼吸器センター（呼吸器外科）
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」（平成20年厚生労働省告示第129号）第２項各号に掲げる先進医療、同告示第３項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

（別紙3）

集学的治療の提供にあたって放射線療法を
他の医療機関との連携によって対応できる体制

平成21年1月から12月について記載（延べ数ではなく実数を記載すること。）

病院名 #REF!

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
（例）	○○○病院	○○市○○町○ー○ー○	35人
1	自院にて対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 #REF!

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
（例）肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器センター	2	はい	いいえ	はい	http:// ・・・・・
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
			定位放射線治療	実施可	あり						
		集学的治療		実施可		上記の科					
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器センター	9	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_center/index.html
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	呼吸器センター	9	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_center/index.html
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/section/hoshasen20.pdf
			定位放射線治療	実施可	あり						
			小線源治療	未実施							
		光線力学療法		未実施							
		集学的治療									
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_center/index.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術（EMR）	実施可	あり	消化器センター	4	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_center/index.html
			粘膜下層剥離術（ESD）	実施可	あり						http://www.kitano-
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	6	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		光線力学療法		未実施							
		集学的治療		実施可							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_center/index.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術（EMR）	実施可	あり	消化器センター	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	6	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki_
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可		消化器センター					

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	2	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	消化器センター	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/indicater.htm
			マイクロ波凝固法	実施可	あり						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	放射線科	3	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施							
		集学的治療		実施可		消化器センター					
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	乳腺外科 形成外科	3 1	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nyusen/index.html http://www.kitano-
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	乳腺外科 形成外科	3 1	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/keisei/in
		化学療法		実施可	あり	乳腺外科	3	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nyusen/i
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nyusen/index.html http://www.kitano-
			小線源治療	未実施							
		冷凍凝固摘出術		未実施							
		集学的治療		実施可		乳腺外科					

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
脳腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	脳神経外科	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		化学療法		実施可	あり	脳神経外科	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei/index.html http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/section/hoshasen20.pdf
			定位放射線治療	実施可	あり						
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施		脳神経外科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：神経膠腫（びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など）、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など 神経膠腫、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫							
脊髄腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	整形外科 脳神経外科	2 4	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		化学療法		未実施	あり	整形外科 脳神経外科	2 4	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		放射線療法	体外照射	未実施							
			定位放射線治療	未実施							
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：脊髄腫瘍など 神経鞘腫、神経繊維腫							
眼、眼窩腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	眼科	6	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/ganka/in
		冷凍凝固術		実施可	あり	眼科	6	いいえ	いいえ	いいえ	
		光凝固術		実施可	あり	眼科	6	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施							
		眼動注		未実施							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など 結膜腫瘍							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
頭頸部がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	あり	耳鼻咽喉科 形成外科	2 2	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/jibiinko/i
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど 口腔がん6例（舌癌がん例、口腔底がん1例）、喉頭がん5例、上咽頭がん4例、中咽頭がん4例、下咽頭がん2例、頚部食道がん2例、鼻副鼻腔がん5例（上顎がん4例）、大唾液腺がん3例（耳下腺がん3例）、頸部原発不明がん1例							
甲状腺がん	診療可	手術		実施可	あり	耳鼻咽喉科	2	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/jibiinko/i
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
			放射性ヨード内服治療	未実施							
		集学的治療		実施可		耳鼻咽喉科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：甲状腺がん 甲状腺がん21例（乳頭がん16例、濾胞がん3例、扁平上皮がん1例、CASTLE1例）							
食道がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	消化器センター 耳鼻咽喉科	2 2	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html
			胸腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術（EMR）	実施可	あり	消化器センター	3	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html
			粘膜下層剥離術（ESD）	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器センター 耳鼻咽喉科	3 2	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html
			小線源治療	未実施							
		光線力学療法		未実施							
		集学的治療		実施可		消化器センター					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：頚部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん（腹部食道がん）など 頚部食道癌、胸部食道癌、腹部食道癌							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
縦隔腫瘍	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器センター	9	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		化学療法		実施可	あり	呼吸器センター	9	いいえ	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		呼吸器センター					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：胸腺腫など							
				胸腺腫							
中皮腫	診療可	手術		実施可	あり	呼吸器センター	9	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		化学療法		実施可	あり	呼吸器センター	9	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki.
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：中皮腫							
				中皮腫							
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	2	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/section/
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：膵がん							
				膵がん、悪性膵内分泌腫瘍							
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	1	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	4	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可		消化器センター					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん							
				胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	消化器センター	2	いいえ	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		化学療法		実施可	あり	消化器センター	3	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki.
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	消化器センター 放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		消化器センター					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
				十二指腸がん、小腸がん							
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/index.html http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/section/
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/i
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/i
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：腎がん							
				腎がん							
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/index.html
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	泌尿器科、放射線	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：膀胱がん							
				膀胱がん							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/index.html
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	泌尿器科、放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		腎盂・尿管内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど							
				尿道がん							
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/i
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	泌尿器科、放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/index.html http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/
			腹腔鏡下手術	未実施	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科、小児科、	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施	あり			いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	あり			いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：前立腺がん							
				前立腺がん							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
精巣がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	はい	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/i
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/hinyoki/i
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：精巣がん 精巣がん							
その他の男性生殖器がん	診療可	手術		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	泌尿器科、放射線	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		泌尿器科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：陰茎がん 陰茎がん							
子宮がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	8	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/sanfujink a/index.html
			腹腔鏡下手術（膣式）	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	8	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/sanfujink
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	あり						
		光線力学療法		未実施		産婦人科		いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		産婦人科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん							
卵巣がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	8	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/sanfujink
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	8	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/sanfujink
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		産婦人科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：卵巣がん 卵巣がん							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
その他の女性生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	8	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	8	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可		産婦人科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど 腹膜癌、子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がん							
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	形成外科 皮膚科	2	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/keisei/in
		化学療法		実施可	あり	形成外科 皮膚科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		インターフェロン療法		未実施	なし	形成外科 皮膚科		いいえ	いいえ	いいえ	
		凍結療法		未実施		皮膚科		いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		形成外科 皮膚科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど							
悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術	切・離断術	未実施							
			患肢温存術	未実施							
			再建術	未実施							
			骨移植術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
血液腫瘍	診療可	化学療法		実施可	あり	血液内科	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/ketsueki
		移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	あり	血液内科	5	はい	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/ketsueki/index.html http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/section/ketsueki20.pdf
			血縁者間同種造血幹細胞移植	実施可	あり						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	実施可	あり						
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/ketsueki
			全身照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/ketsueki
		集学的治療		実施可		血液内科					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫							
小児固形 小児脳腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	脳神経外科 小児科	3 1	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		化学療法		実施可	あり	脳神経外科 小児科	3 1	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/nosinkei
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	3	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shoni/index.html
			定位放射線治療	実施可	あり						
			強度変調放射線治療（IMRT）	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療									
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など 神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫 頭蓋咽頭腫、胚細胞腫、non-germinomatous germ cell tumor、胎児型視床腫瘍、ランゲルハンス細胞組織球症など							
小児網膜芽細胞腫	診療不可	手術		未実施							
		化学療法		未実施							
		眼動注		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		冷凍凝固術		未実施							
		光凝固術		未実施							
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：小児網膜芽細胞腫							

形腫瘍	診療状況（診療可・診療不可）		各治療の実施状況と実績									
			治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
									治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
	小児悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術		実施可	なし	小児科 小児外科	1 1	いいえ	はい	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shonigek
			化学療法		実施可	なし	小児科 小児外科	1 1	いいえ	いいえ	はい	
			放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
				小線源治療	未実施							
			集学的治療		実施可		小児科、小児外					
			昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など							
	その他の小児固形腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	小児科、小児外科	1	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shonigek
			化学療法		実施可	なし	小児科、小児外科	1	いいえ	いいえ	はい	
			放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
				小線源治療	未実施							
			集学的治療		実施可		小児科、小児外科					
			昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など 神経芽細胞腫							
小児血液腫瘍		診療可	化学療法		実施可	あり	小児科	1	はい	いいえ	はい	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shoni/in
			移植	自家末梢血幹細胞移植	実施可	あり	小児科	1	いいえ	いいえ	はい	
				血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
				非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし						
			放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
				小線源治療	未実施							
			集学的治療									
			昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など 急性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群							
原発不明がん		診療可	手術		実施可	なし	消化器センター 産婦人科	0	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法		実施可	なし	消化器センター 産婦人科 消化器センター	0	いいえ	いいえ	いいえ	
			放射線療法		実施可	なし	放射線科	0	いいえ	いいえ	いいえ	
			集学的治療		実施可		消化器センター 産婦人科 消化器センター 脳神経外科					
			昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例：原発不明がん 原発不明がん							

対象疾患	診療状況（診療可・診療不可）	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点（実施可・未実施）	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日（あり・なし）	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載（はい・いいえ）	治療実績等の掲載（はい・いいえ）	医師の専門分野等の掲載（はい・いいえ）	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療可	手術	実施可	あり	呼吸器センター	9	いいえ	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki
		化学療法	実施可	あり	呼吸器センター	9	いいえ	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kokyuki
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例：性腺外胚細胞腫 性腺外胚細胞腫							
GIST（Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍）	診療可	手術	実施可	あり	消化器センター	2	はい	いいえ	いいえ	http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki
		化学療法	実施可	あり	消化器センター	3	はい	はい	はい	
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		消化器センター					
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例：GIST GIST							
その他疾患名：扁平上皮がん	診療可	手術	実施可	あり	形成外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	未実施							
		放射線療法	未実施							
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名：外耳がん	診療可	手術	実施可	なし	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名：中耳がん	診療可	手術	実施可	なし	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	耳鼻咽喉科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	3	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可							
		昨年の各疾患の治療実績（平成21年1月1日～12月31日） ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

（別紙5）

院内クリティカルパス（がんに関するもの）

期間 平成22年 6月 1日 ～ 7月31日

病院名	#REF!
パス整備数	29
パス適応数	150

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
（例）	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
（例）	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
（例）	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	2010/1/20
1	肺がん	その他	気管支鏡	8	2010/4/1
2	肺がん	その他	CTガイド下生検	0	2010/4/1
3	肺がん	化学療法	化学療法	0	2010/4/1
4	肺がん	手術療法	開胸肺癌パス	0	2010/4/1
5	肝がん	その他	肝生検	5	2010/4/1
6	肝がん	手術療法	肝切除	3	2010/4/1
7	肝がん	手術療法	動脈内薬液注入療法	5	2010/4/1
8	肝がん	手術療法	腹部血管造影	13	2010/4/1
9	肝がん	手術療法	肝癌PEIT RF PMCT	6	2010/4/1
10	乳がん	手術療法	乳房温存術：腋窩非郭清	0	2010/4/1
11	乳がん	手術療法	乳癌手術	30	2010/4/1
12	膵がん	その他	ERCPパス	12	2010/4/1
13	胃がん	手術療法	ESDパス	24	2010/4/1
14	胃がん	手術療法	幽門側胃切除	2	2010/4/1
15	大腸がん	手術療法	大腸切除術	7	2010/4/1
16	血液腫瘍	化学療法	リツキサン	0	2010/4/1
17	血液腫瘍	化学療法	リツキサンCHOP2	0	2010/4/1
18	血液腫瘍	化学療法	CHOP2	0	2010/4/1
19	子宮がん	手術療法	子宮頚部円錐切除術	4	2010/4/1
20	前立腺がん	その他	前立腺生検	25	2010/4/1
21	前立腺がん	手術療法	TUR－BT	0	2010/4/1
22	甲状腺がん	手術療法	甲状腺全摘出術	1	2010/4/1
23	甲状腺がん	手術療法	甲状腺片葉切除術	1	2010/4/1

24	頭頸部がん	手術療法	唾液腺腫瘍手術	2	2010/4/1
25	頭頸部がん	手術療法	直達喉頭鏡下微細手術	2	2010/4/1
26	脳腫瘍	放射線療法	ラジオサージェリー（バイオプレート）	0	2010/4/1
27	脳腫瘍	放射線療法	ラジオサージェリー（リング）	0	2010/4/1
28	脳腫瘍	放射線療法	ハイパーナイフ：リング使用	0	2010/4/1
29	脳腫瘍	放射線療法	ハイパーナイフ：歯型使用	0	2010/4/1
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					

（別紙6）

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

名称	構成メンバー（◎：委員長）	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
がん化学療法委員会	◎血液内科部長 看護部副部長、薬剤部副部長 乳腺外科部長、産婦人科部長、 消化器ｾﾝﾀｰ(外科)副部長、消化器ｾﾝﾀｰ(内科)副部長、 泌尿器科副部長、呼吸器ｾﾝﾀｰ医師、 臨床検査技師部副技師長、薬剤部係長2名・主任3名、 外来師長、病棟師長5名、病棟主任1名、 外来化学療法室看護師2名、 医事1課（外来）主任、医事2課（入院）、 地域医療ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ課主任、IT推進課係員	

開催実績（開催日）	委員会名称	承認レジメン数
例：4月10日	レジメン管理委員会	5
4月20日	がん化学療法委員会	0
5月18日	がん化学療法委員会	5
6月15日	がん化学療法委員会	4
7月20日	がん化学療法委員会	5

（別紙7）

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	職種	診療科（医師のみ記載）	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	化学療法の経験年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
（例）	医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	○○学会認定医（2002年）、 同　専門医（2006年）
1	医師	血液内科	常勤	専任	24	日本臨床腫瘍学会暫定指導医（2006年）
2	医師	呼吸器外科	常勤	兼任	18	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2009年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
3	医師	産婦人科	常勤	兼任	26	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2008年)
4	医師	消化器外科	常勤	兼任	19	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2007年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
5	医師	消化器外科	常勤	兼任	19	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
6	医師	消化器外科	常勤	兼任	30	日本臨床腫瘍学会暫定指導医（2008年） 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
7	医師	小児科	常勤	兼任	11	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
8	医師	小児外科	常勤	兼任	21	日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
9	医師	脳神経外科	常勤	兼任	21	日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
10	医師	脳神経外科	常勤	兼任	8	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
11	医師	脳神経外科	常勤	兼任	26	日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
12	医師	泌尿器科	常勤	兼任	25	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2007年)
13	医師	消化器内科	常勤	兼任	21	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
14	医師	消化器内科	常勤	兼任	18	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2009年)

15	医師	消化器内科	常勤	兼任	16	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2010年)
16	医師	消化器内科	常勤	兼任	12	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
17	医師	消化器内科	常勤	兼任	5	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
18	医師	呼吸器内科	常勤	兼任	7	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2010年)
19	医師	呼吸器内科	常勤	兼任	4	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2010年)
20	医師	呼吸器内科	常勤	兼任	6	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2009年)
21	医師	乳腺外科	常勤	兼任	30	日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)
22	医師	泌尿器科	常勤	兼任	15	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2010年)
23	医師	泌尿器科	常勤	兼任	9	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2010年)
24	看護師		常勤	専従	7	日本看護協会がん化学療法認定看護師(2010年)
25	看護師		常勤	兼任	12	日本看護協会がん化学療法認定看護師(20O7年)
26	薬剤師		常勤	専従	13	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2008年)
27	薬剤師		常勤	兼任	26	日本病院薬剤師会近畿ブロック癌化学療法専門薬剤師(2006年)
28	薬剤師		常勤	兼任	9	日本病院薬剤師会近畿ブロック癌化学療法専門薬剤師(2005年) 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2009年)
29						
30						

○　研修医は除くこと。
○　常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。
○　「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

（別紙8）

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	職種	診療科	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の経験年数	専門医等資格
（例）	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	○○学会認定医（2002年）、 同　専門医（2006年）
1	医師	放射線科	常勤	専従	20年	日本医学放射線学会　放射線科専門医（1997年） 日本放射線腫瘍学会　認定医（2001年）
2	医師	放射線科	常勤	専従	8年	日本医学放射線学会専門医（2006年） 日本核医学会専門医（2006年） 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医（2008年）
3	医師	放射線科	常勤	専従	3年	日本医学放射線学会認定医（2010年）
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任：当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従：当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

（別紙9）

緩和ケアチームの組織・体制

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

別添、「別紙9　組織規程」の組織図、および組織及び分掌業務を参照

別紙9　組織規程

組　織　規　程

第1章　総　則

第１条　本規程は、財団法人田附興風会　（以下「財団」という）の組織に関する基本的事項を定め、財団業務の円滑かつ効率的運営を図ることを目的とする。

第２条　本財団の業務運営の組織として、医学総合研究所（以下「医学研究所」という）及び臨床研究用病院（以下「付属病院」という）を置く。

第３条　医学研究所及び付属病院は、寄付行為の定めにより、次の業務を施行する。

①　医学研究所;医学に関する総合研究及び学術研究の奨励･普及

②　付属病院　;臨床医学研究のための患者の診断･治療･予防及び研修生の指導

第2章　組　織

第４条　医学研究所及び付属病院の組織及び分掌業務は、別表１及び別表２のとおりとする。

【別表-１】　組織機構表

【別表-２】　組織及び業務分掌

第3章　職　制

（役員）

第５条　寄付行為に基づき、次の役員を置く。

理 事 長；当財団の業務を総理し、この法人を代表する。医学研究所長を兼務することがある。

常務理事；理事長を補佐し、理事会の決議に基づき日常の業務に従事する。
理事長に事故あるとき、また欠けたときは、その職務を代行する。
病院長ならびに医学研究所所長代理を兼務することがある。

理　　事；理事会を組織して当財団の業務を議決し執行する。常勤理事若干名が医学研究所長及び病院長の職務を補佐することがある。

監　　事；民法第５９条の職務を行う。

（医学研究所の職制）

第６条　医学研究所の職制は、次のとおりする。

①所長は１名とし、寄付行為及び理事会の決議に従い、研究所全般の業務を指揮管理する。又、副所長、部長及び研究主幹を任命する。

②所長代理は１名とし、研究所の管理運営を円滑に行うために所長を補佐する。所長に事故あるときは、その職務を代行する。

③副所長は１名とし、所長を補佐するとともに、所長の委任を受け、その職務を代行する。

④１０研究部及び治験センター毎に各１名の部長を置く。部長は副所長を補佐するとともに、副所長の指示を受け、所属員を指揮管理し、その分掌業務を執行する。

⑤各診療科の部長は必ず何れかの研究部に所属するものとする。

⑥各部の実態に応じ、管理監督職としての研究主幹、主任研究員並びに研究員を置くことができるとともに、研究を補助するため、及び研究所を運営するため、必要に応じて所員をおくことができる。

⑦上記職制については、別表３の職制表を適用する。

［別表－３］ 財団の職制

（付属病院の職制）

第７条　付属病院の職制は、次のとおりする。

①病院長（以下院長という）は１名とし、寄付行為及び理事会の決議に従い、病院全般の業務を統括管理する。

②副院長は若干名とし、院長を補佐し、院長に事故あるときは、予め定めた順序に従い、その職務を代行する。また院長の委任を受け、院長業務の一部を代行するとともに、院長より命じられた範囲の診療部門統括業務を執行する。

副院長の任期は２年とし、再任を妨げない。

③診療部門の部長は各部及び各診療科毎に各１名を置く。部長は、部門統括副院長を補佐するとともに、その指示を受け、所属員を指揮管理し、その分掌業務を執行する。

④薬剤部長は１名とし､院長を補佐するとともに、その指示を受け、所属員を指揮管理し、その分掌業務を執行する。管理監督職として副部長・係長・主任を置き、それぞれ上司の補佐と、その旨を承けて業務を分掌し、所属員を指揮監督させる。

⑤看護部長は１名とし、院長を補佐するとともに、その指示を受け、所属員を指揮管理し、その分掌業務を執行する。管理監督職として副部長・師長・主任を置き、それぞれ上司の補佐と、その旨を承けて業務を分掌し、所属員を指揮監督させる。

⑥事務部長は１名を置き、医学研究所長及び病院長を補佐するとともに、その指示を承けて所属員を指揮管理し、その分掌業務を執行する。管理監督職として社会貢献室長、事務次長、課長、課長代理、係長、主任を置き、それぞれ上司の補佐と、その旨を承けて業務を分掌し、所属員を指揮監督させる。

⑦上記職制については、別表３の職制表を適用する。

（顧問）

第８条　業務上必要あるときは、顧問を若干名置くことができる。

２．顧問は理事会の諮問に応じ、業務上必要な意見を具申する。

（嘱託等）

第９条　業務上必要あるときは、客員研究員及び嘱託を置くことができる。

２．客員研究員及び嘱託は、委嘱をうけた業務に従事する。

３．客員研究員は別に定める「医学研究所客員研究員に関する規程」の適用を受ける。

第4章 諸 会 議

（諸会議）

第１０条 業務運営上必要な重要事項の審議・決定及び決定事項の周知徹底等

組織間の意思疎通の円滑化を図るため、必要に応じ会議、連絡会を設置する。

２．各種会議の機構運営要領については、別に定める。

・執行部会規程　　・部長会規程

第5章 委 員 会 等

（委員会等）

第１１条 法の定めまたは行政指導もしくは院長の指示により、特定事項を審議又は運営するため、委員会等を設置する。

２．各委員会等の機構運営要領については、別に定める。

・各委員会規程

第6章 付 則

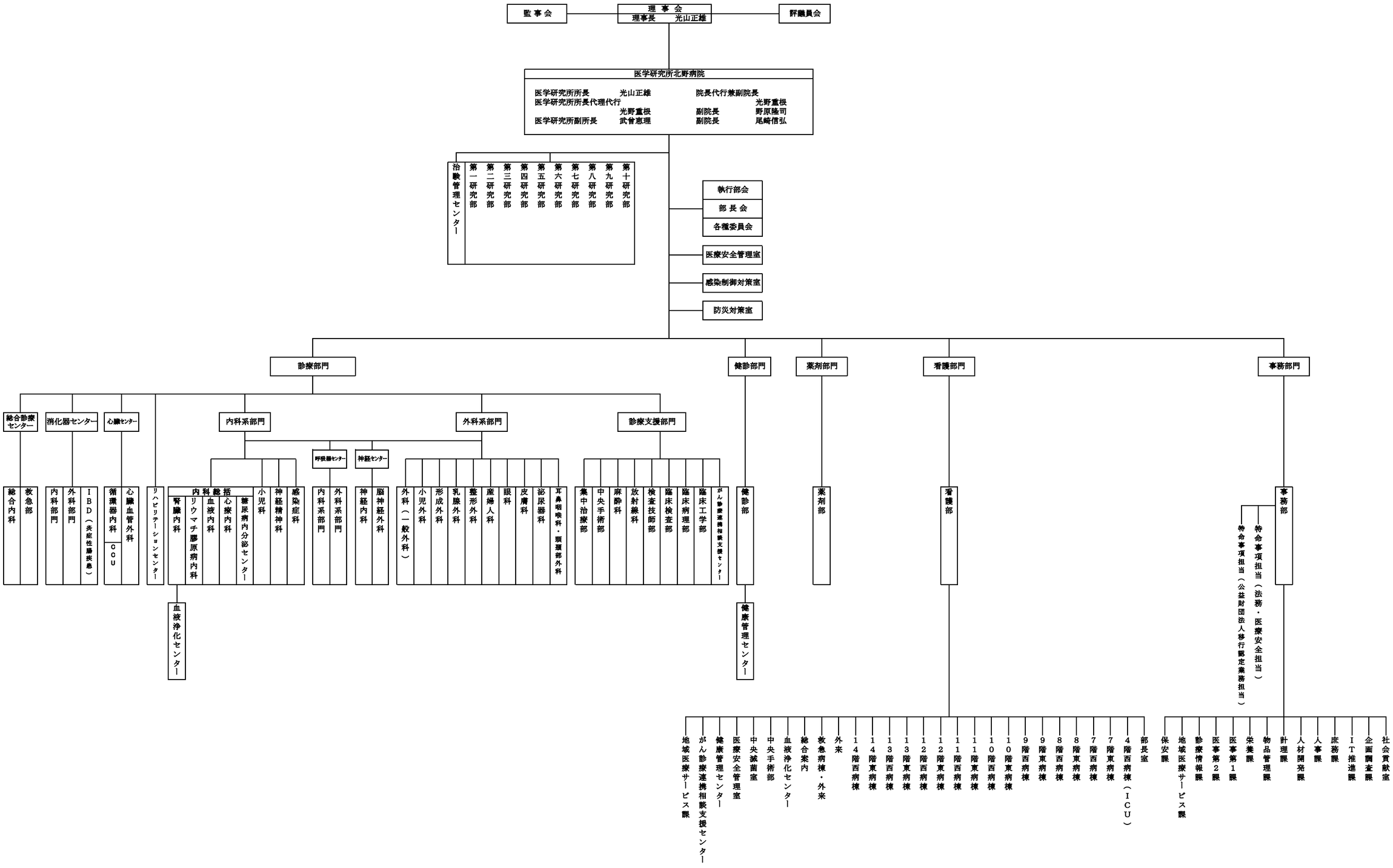
第１２条 この規程の一部改正は、平成１８年　４月　１日から施行する。

以 上

平成22年7月7日現在

【別表-1】

財団法人田附興風会　医学研究所　北野病院　組織機構表



【別表ー２】　組織及び業務分掌

【別表２－１】医療安全管理室及び感染制御対策室及び防災対策室の分掌業務

改正　H22.04.01.

医療安全管理室

1. 医療安全推進のための指針・計画に関する事項
   （医薬品および医療機器の安全管理対策を含む）
2. 医療安全にかかるマニュアルの作成と管理
3. アクシデント報告・インシデント報告の収集と分析
4. 医療安全啓蒙活動・職員教育の立案と実施
5. 医療安全管理の事務局に関する事項
6. 巡回安全点検による安全管理実施状況の確認
7. 医療事故発生時の情報収集と医療事故調査委員会の立上げ
8. その他医療安全の推進に関する事項

感染制御対策室

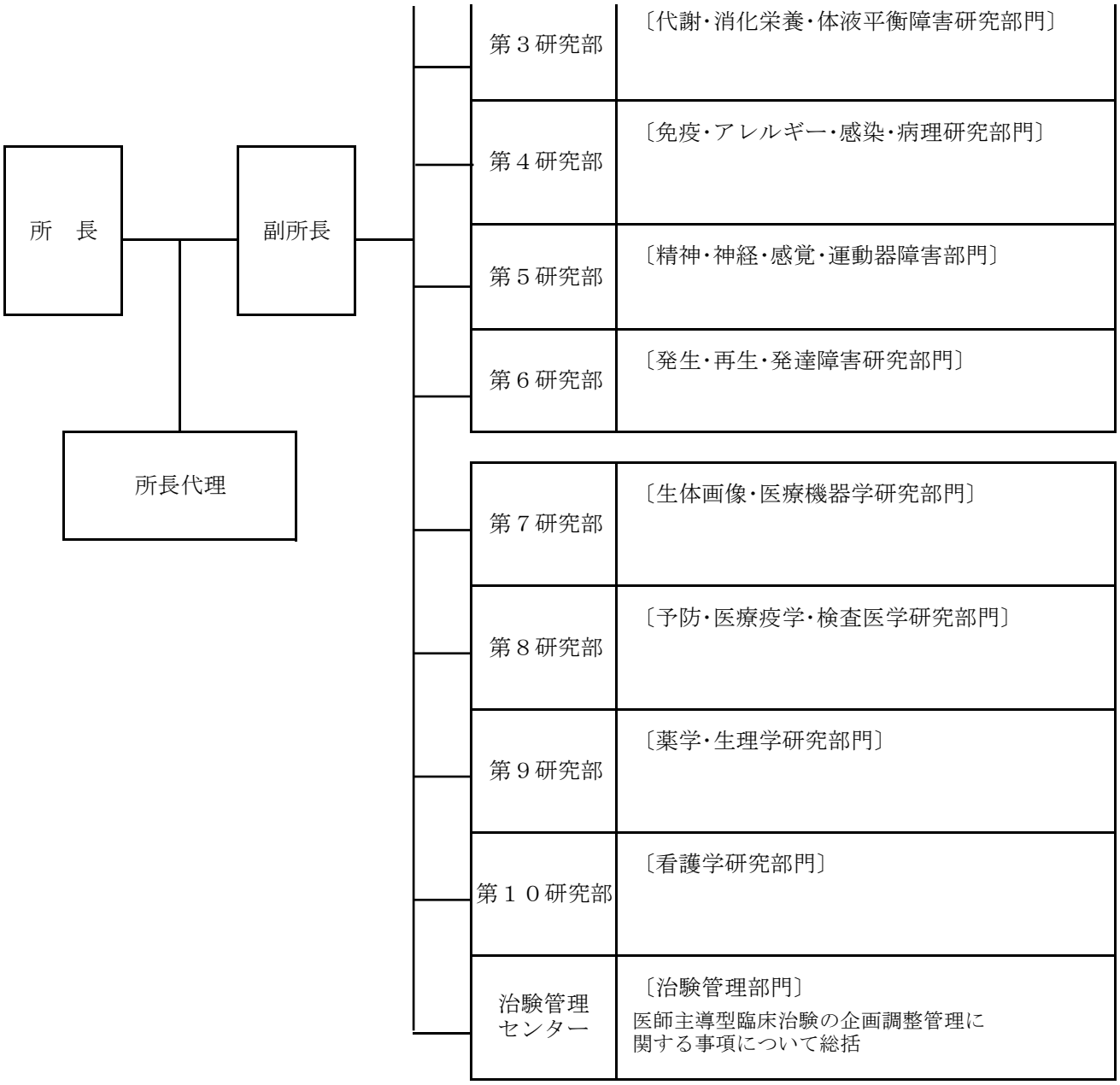
1. 感染対策に関する事項

防災対策室

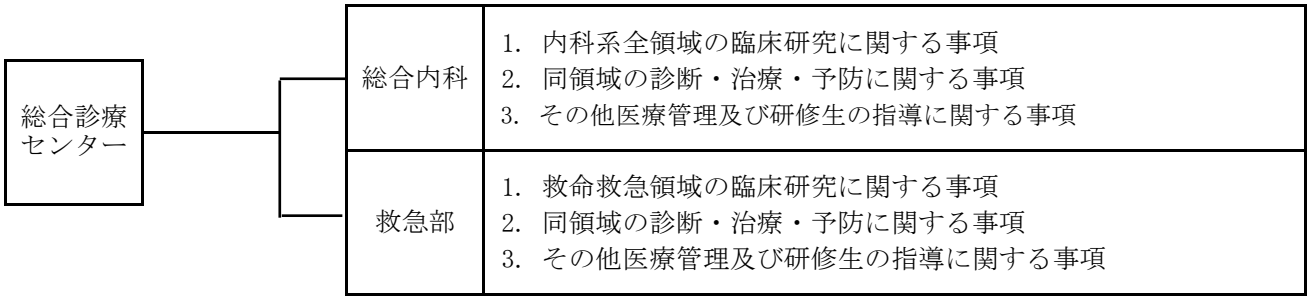
1. 防火・防災・防犯のための指針・計画に関する諸事項
2. 防火・防災・防犯にかかるマニュアルの作成と管理
3. 職員の防火・防災・防犯意識の高揚を図るための具体的な活動
4. 防災対策委員会の事務局に関する事項
5. 災害発生時の初期対応の指示と情報収集
6. 防災対策委員会に対する諮問の実施
7. その他防火・防災・防犯の推進に関する事項

【別表２－２】　医学研究所の組織及び分掌業務

第１研究部	〔癌研究部門〕
第２研究部	〔心･血管･肺･血液障害研究部門〕



【別表２－３】　診療部門の組織及び分掌業務



消化器センター	外科部門	1. 消化管外科領域及び一般外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	内科部門	1. 消化管内科領域及び内視鏡診療領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. 内視鏡室の管理運営に関する事項 4. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	IBD（炎症性腸疾患）部門	1. IBD（炎症性腸疾患）診療領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項

心臓センター	循環器内科 CCU 心臓血管外科	1. 循環器内科・ＣＣＵ・心臓血管外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項

内科系診療部門	内科統括	腎臓内科	1. 腎臓内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. 血液浄化センターの管理運営に関する事項 4. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		リウマチ膠原病内科	1. リウマチ膠原病内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		血液内科	1. 血液内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		心療内科	1. 心療内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		糖尿病内分泌センター	1. 糖尿病内分泌内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	小児科		1. 小児科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	神経精神科		1. 神経精神科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	感染症科		1. 感染症科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項

外科系診療部門	呼吸器センター	内科系部門	1. 呼吸器内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断･治療･予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		外科系部門	1. 呼吸器外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	神経センター	神経内科	1. 神経内科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		脳神経外科	1. 脳神経外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		外科	1. 外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		小児外科	1. 小児外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		形成外科	1. 形成外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		乳腺外科	1. 乳腺外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		整形外科	1. 整形外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		産婦人科	1. 産婦人科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
		眼科	1. 眼科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項

	皮膚科	1. 皮膚科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	泌尿器科	1. 泌尿器科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	1. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項

診療支援部門	麻酔科	1. 麻酔科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	集中治療部	1. 集中治療領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	中央手術部	1. 手術器材の整備保管に関する事項 2. 同領域の診断・治療・予防に関する事項 3. その他医療管理及び研修生の指導に関する事項
	放射線科	1. 放射線科領域の臨床研究に関する事項 2. 同領域の診断･治療その他医療管理及び研修生の指導に関する事項 3. 放射線装置の操作及び安全管理に関する事項
	臨床検査部	1. 検体検査･生理検査･輸血領域の臨床研究に関する事項 2. 検査の画像記録に関する事項 3. 検査･輸血の機材･試薬･製剤･検体の整備保管に関する事項 4. その他検体検査･生理検査･輸血に関する事項
	臨床病理部	1. 人体病理学領域の臨床病理学的研究に関する事 2. ヒト採取検体等の記録･保管に関する事項 3. その他輸主病理部の精度や安全を含む管理に関する事項
	検査技師部	1. 臨床検査部と臨床病理部の技師業務を遂行する
	臨床工学部	1. 医療機材の安全管理、及び整備保管に関する事項 2. 臨床工学士の統括管理に関する事項 3. その他医療機材管理に関する事項
	がん診療連携相談支援センター	1. 地域の医療機関と連携した在宅支援に関する事項 2. 緩和ケアとしてのトータルペインケアに関する事項 3. がん治療全般にかかる相談支援に関する事項
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ		1. ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ領域の臨床研究に関する事項 2. ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ治療に関する事項 3. ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ機材の操作及び安全管理に関する事項

【別表２－４】　健診部・薬剤部の組織及び分掌業務

健診部

健康管理センター

1. 予防医学研究に関する事項
2. 健康診断、健康管理指導に関する事項
3. 職員の健康診断に関する事項
4. その他健康管理センターの管理に関する事項

薬剤部

1. 調剤、製剤、与薬に関する事項
2. 医薬品の受払、保管、管理に関する事項
3. 毒・劇薬の取り扱いに関する事項
4. 麻薬管理に関する事項
5. 医薬品の調査、試験、製剤開発に関する事項
6. 医薬品情報の整理・保管に関する事項
7. 薬事統計資料に関する事項
8. 治験に関する事項
9. その他薬事に関する事項

看護部門の組織及び分掌業務

看護部

部長室
４階西病棟（ＩＣＵ）
７階東病棟
７階西病棟
８階東病棟
８階西病棟
９階東病棟
９階西病棟
10階東病棟
10階西病棟
11階東病棟
11階西病棟
12階東病棟
12階西病棟
13階東病棟
13階西病棟
14階東病棟
14階西病棟
外来
救急病棟・外来
総合案内
血液浄化センター
中央手術部
中央滅菌室
医療安全管理室
健康管理センター
がん診療連携
相談支援センター
地域医療サービス課

1. 患者管理、療養指導に関する事項
2. 療養上の世話業務に関する事項
3. 診療の補助業務に関する事項
4. 病棟の管理運営に関する事項
5. 患者のリスク管理（安全対策、感染管理）に関する事項
6. 患者及び家族の保健衛生指導に関する事項
7. 看護及び処置記録の整備保管に関する事項
8. 部門に属する器具、衛生材料及びリネン類の管理に関する事項
9. 看護職員の教育及び研究に関する事項
10. 看護学生の臨地実習に関する事項
11. 看護職員の採用、勤務配置その他看護職員の部門内人事労務管理に関する事項
12. その他診療介助及び看護に関する事項

【別表２－６】　事務部の組織及び分掌業務

特命事項担当	1. 法務・医療安全担当
特命事項担当	1. 公益財団法人移行認定業務担当
社会貢献室	当院の設立趣旨に則った社会への貢献を 実現するための活動を行う 1. 社会貢献活動 2. 寄付金募集活動
企画調査課	1. 病院経営予算の策定･管理に関する事項 2. 病院経営に必要な分析調査･統計･企画･立案に関する事項 3. 中期3ｶ年計画の推進に関する事項 4. 病院営業計画の推進に関する事項 5. その他病院経営の基本に関わる事項 6. CS推進に関する全院施策の企画･立案･実施に関する事項 7. CSｱﾝｹｰﾄ及びﾏｽｺﾐ対策等によるお客様の声の集約･分析に関する事項 8. 内外広報及びﾏｽｺﾐ対応等によるｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ活動の推進に関する事項 9. 病院見学者への対応に関する事項 10. その他CS推進に関する事項 11. レセプト他各種統計資料の出力に関する事項の内、経営統計に関する業務
ＩＴ推進課	1. 電算機の維持管理に関する事項 2. プログラムの維持管理及び修正に関する事項 3. 点数マスターの維持管理及び改訂に関する事項 4. レセプト他各種統計資料の出力に関する事項の内、経営統計以外の業務 5. 外来受付け業務及び保険請求事務の補助に関する事項 6. その他ＩＴ関連業務の企画・調査・運営に関する事項
庶務課	1. 財団運営に関する事項 2. 官公庁･諸団体への諸届に関する事項（他の課に属する事項を除く） 3. 外部団体との渉外に関する事項 4. 事業計画書･事業報告書及び年報の作成に関する事項 5. 公印の取扱い及び保管に関する事項 6. 各種委員会の管理に関する事項 7. 部長会･課長会に関する事項 8. 院内の施設管理及び警備に関する事務

9. 実習生・見学生・客員医師の受け入れ事務に関する事務
10. 文書管理に関する事項
11. 医学図書室の運用管理に関する事項
12. 課税に係わる訴訟に関する事項
13. 医学研究所運営に関する事項
14. 他の部署に属さない事項及びその付随事項

人事課

1. 職員の採用・退職・異動・昇格・昇給・表彰・懲戒に関する事項
2. 職員の賃金(給与・賞与・退職金)に関する事項
3. 職員の出張・教育訓練に関する事項
4. 職員の勤務管理に関する事項
5. 労災取扱い事務及び健康管理に関する事項
6. 職員の慶弔に関する事項
7. 労働組合との折衝に関する事項
8. 人事諸規程の管理・改廃に関する事項
9. 職員の福利厚生に関する事項
10. 職員食堂及び寄宿舎の運営に関する事項
11. 保育所の運営に関する事項
12. 日宿直の割当に関する事項
13. 看護職員の募集・採用に関する事項
14. その他人事労務管理に関する事項

人材開発課

1. 人材育成に関する事項

計理課

1. 計理総括事務(予算の編成及び執行管理・決算の調整・各収受の根拠にかかる審査)
2. 現金・預金等の出納・保管・管理運用に関する事項
3. 窓口収入に関する統計の作成
4. 諸料金の回収に関する事項
5. 厚生資金の取り扱いに関する事項
6. 理事会・評議員会に関する事項
7. 寄附収受に関する事項
8. その他計理に関する企画調査に関する事項

用度

1. 物品(薬品・医学図書・給食材料を除く)の調達・保管・払出・消費管理に関する事項
2. 機械器具・什器備品・院内備付品の管理及び機械類の修理発注に関する事項
3. 貸与被服の契約・保管・全布製品の洗濯並びに外注洗濯物管理に関する事項
4. 患者用寝具・職員用寝具類・診察用ｼｰﾂ類等の賃借契約及び監督に関する事項
5. 病室のｶｰﾃﾝ・暗幕類の委託管理及び関係業者の監督に関する事項

事務部

物品管理課

6. 所管業務に関する契約・検収
7. 物品の受入・払出・消費管理・保管に関する事項
8. 院内における物品等の搬送業務に関する請負業者の管理指導
9. その他物品の配送管理に付随する事項

保繕

1. 土地・建物及び付属設備の維持・運用・修繕に関する事項
2. 建物及び付属設備の保全ﾒﾝﾃ・検収及び管理請負業者に対する管理指導に関する事項
3. 院内の施設管理及び防火・防災に関する事務
4. 所管業務の改善に関する調査研究並びに関係業務の事務処理に関する事項

栄養課

栄養管理

1. 給食材料の購入・検収・保管に関する事項
2. 給食数の把握、給食管理に関する事項
3. 各食種の予定・実施献立作成に関する事項
4. 一般食・治療食の検食に関する事項
5. 入院及び外来における栄養指導に関する事項
6. 喫食状況、嗜好の把握と統計に関する事項
7. 従業者の衛生管理に関する事項
8. 研修活動及び学会などへの参加
9. 実習生の教育指導に関する事項
10. その他栄養管理に関する付随事項

調理

1. 調理及び配膳・引膳に関する事項
2. 食器の洗浄及び保管に関する事項
3. 調理室及び設備の清掃・点検・保全に関する事項
4. 給食材料の検収・保管に関する事項
5. 保存食の管理に関する事項
6. 自主管理要領に関する点検・管理
7. その他調理に関する付随事項

医事第１課

外来

1. 外来初診患者の受診に関する診療録の作成・変更などの受付事務及び受診相談に関する事項
2. 診察券の発行及び集計に関する事項
3. 外来患者の各種診療報酬に関する統計資料の作成に関する事項
4. 医事業務に関する企画立案に関する事項
5. 労災保険・自賠責保険の諸手続きに関する事項
6. その他各種証明など外来受付、諸手続きに関する事項

ﾌﾞﾛｯｸ受付

1. 外来ﾌﾞﾛｯｸにおける患者の受診に関する受付事務及び受診相談に関する事項
2. 外来患者の各種証明などの外来診療事務に関する事項
3. その他ﾌﾞﾛｯｸ受付に関する事項

外来計算

1. 外来窓口の諸料金計算に関する事項
2. 外来患者の診療報酬請求書の作成及び事務に関する事項
3. 外来患者の諸統計の作成に関する事項
4. その他外来計算に関する事項

1. 外来窓口の諸料金及び入院諸料金の収納事務に

		会計	関する事項 2. 予約金等療養に伴う諸料金の請求と収納事務に関する事項 3. 諸料金の収納と未収管理に関する事項 4. その他会計に関する事項
		文書管理	1. 外来及び入院に関わる各種文書に関する事項
医事第２課	入院計算		1. 入院患者に関する諸料金請求書の作成及びその請求事務 2. 入院患者に関する診療報酬請求書の作成及び請求事務 3. 入院患者の諸統計に関する事項 4. その他入院計算に関する事項
	入退院		1. 病棟間のﾍﾞｯﾄ調整及び空床管理に関する事項 2. 入退院の事務手続きに関する事項
	病歴管理		1. 入院･外来の診療録及びX線ﾌｨﾙﾑの管理･保管･整理に関する事項 2. 入院診療録のｻﾏﾘ等の保管･管理に関する事項 3. その他病歴管理に関する事項
		病棟事務	1. 入退院患者の処置材料の請求事務に関する事項 2. 入院患者の入退院時の事務手続きに関する事項 3. 入院患者の診療録･X線ﾌｨﾙﾑの整理･管理に関する事項 4. 面会者の案内に関する事項 5. 当該病棟における事務用品の整理･保管･管理に関する事項 6. その他病棟事務に関する事項
診療情報課			1. 診療録のデータベース化 2. 診療に伴う各種データの整備･活用 3. 上記に伴う業務推進のための準備 4. がん登録業務に関する事項
地域医療サービス課	地域医療		1. 病診連携の推進に関する企画･立案･実施に関する事項 2. 病院･医院からの紹介患者の処遇･対応に関する事項 3. 紹介患者についての各種統計資料の作成に関する事項 4. 各医療機関訪問等による地域医療ｻｰﾋﾞｽ促進のための広報公聴活動の推進に関する事項 5. その他地域医療に関する事項
	医療相談		1. 患者･家族からの医療に関する福祉相談に関する事項 2. 入院患者への退院支援業務に関する事項 3. 医療･福祉に関する行政機関との連絡調整に関する事項 4. 老人性痴呆疾患ｾﾝﾀｰに関する相談に関する事項

5. 医療費に関する各種公費負担の申請に関する事項
6. その他医事相談に関する事項

涉外

1. 患者及び家族等からの医事紛争に関する涉外事項
2. 医事紛争に関わる関係機関(医師会･裁判所･弁護士･損保会社等)との折衝調整
3. 医療賠償責任保険に関する請求事務に関する事項
4. 医事紛争に関する調査･研究

保安課

1. 事故、事件、犯罪の防止と発生時の対応に関する事項

【別表ー３】 財団の職制

部　局	管理職	監督職(補佐職)			備　考
診療部門 健診部門	部長	副部長(A)	副部長(B)		
技術部門		技師長 副技師長	係長	主任	臨床検査技師、放射線技師、臨床工学士、臨床心理士、マッサージ師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士
薬剤部門	部長	副部長	係長	主任	
看護部門	部長 副部長 師長			主任	・病棟毎に師長･主任を置く ・外来ﾌﾞﾛｯｸ毎に主任を置き、統括師長1名を置く ・中央手術部、中央滅菌室、血液浄化センター、健康管理センター等に師長を置く
事務部門	部長 室長 次長 課長	課長代理	係長	主任	事務部
研究部門	部長 研究主幹	主任研究員		主任	・研究主幹は、各研究部の部長以外の診療部門の部長、副部長、看護部長をあてる。 ・技術部門に主任を置く場合がある。

（別紙10）

緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 平成22年9月1日時点

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

緩和ケア運用マニュアル

平成20年9月一部改定

平成18年10月一部改定

平成17年7月10日作成

Ⅰ．医師より直接相談依頼をされる場合

1．緩和ケアが必要な場合、主治医より緩和ケア案内文（スターオフィスの帳票にある）をもとに患者様に説明して同意を得て頂く。

2．主治医は、スターオフィス帳票にある緩和ケア実施計画書に必要事項を入力し、（主治医入力項目は黄色で反転しています）、看護部：鎗野へ添付文書でメール配信する。

3．相談依頼用紙と返信の完成を持って、緩和チームの介入を開始する。

患者様には緩和ケアチームが直接同意書、今後の関わりの説明を行う。（緩和ケア実施計画書は、カルテに綴じる。緩和ケア診療計画書にサインを頂いた後、一部は患者様へお渡しして、一部はカルテに綴じる。）

以後は、緩和ケア専従看護師がラウンドを行い、ソレミオに記録を行う。毎週木曜日の定期回診（原則的に毎週木曜日の午後）については、回診内容をカルテに記録する。

（できる限り、回診時は参加して頂くようにお願い致します）

Ⅱ．看護師より直接相談依頼をされる場合

1．病棟担当ナースの判断で緩和ケアの適応ありと考えられた患者様について、看護師から緩和ケア専従看護師（PHS：6153　鎗野）へ連絡する。

2．連絡をいただいた患者様のカルテや病棟看護師からの情報をもとに状況を判断する。

3．緩和ケア介入の適応があると判断した場合は、緩和ケア相談依頼用紙を主治医・担当医に送付する。

4．主治医は、可能な限り送付した相談依頼用紙に入力して、看護部：鎗野へ返信する。

5．相談依頼用紙と返信の完成を持って、緩和チームの介入を開始する。

患者様には緩和ケアチームが直接同意書、今後の関わりの説明を行う。（緩和ケア実施計画書は、カルテに綴じる。緩和ケア診療計画書にサインを頂いた後、一部は患者様へ渡し一部はカルテに綴じる。）

以後は、緩和ケア専従看護師がラウンドを行い、ソレミオに記録を行う。毎週木曜日の定期回診（原則的に毎週木曜日の午後）については、回診内容をカルテに記録する。（できる限り、回診時は病棟看護師も参加して頂くようにお願い致します）

※当チームは基本的には、主治医に代わって投薬処方をすることはありませんので、担当医師にカルテ記載の内容を確認の上、速やかに対応して頂くことになります。

ラウンド時に何か指示が発生する場合など、必要に応じて病棟看護師にも申し送りをさせて頂きます。

※緩和ケアチームが診察して、精神的ケアが必要な場合は、精神科に受診して頂く場合があります。

※緩和ケアの質向上のために、病棟看護師と時間調整を行いながら患者様のケアについて、適宜カンファレンスを行っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

Ⅲ．事務手続き

・緩和ケア診療開始時に、入院カルテの表紙に緩和ケアチームラウンドの印を捺印する。

（看護部：鎗野）

・ラウンド患者様の一覧をラウンド開始毎に、医事課にメール送信する。（看護部：鎗野）

（別紙11）

外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

			月		火		水		木		金		土
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
Aブロック（３２１２）			（直通）内・外･６３１２－８８２５										
内科	１診	循環器専門	猪子　森明	猪子　森明	野原　隆司	野原　隆司	野原　隆司	野原　隆司	中根　英策	中根　英策	猪子　森明	猪子　森明	
	２診	循環器兼一般	福田　旭伸		春名　徹也	春名　徹也	和泉　俊明		宮本　昌一		安部　朋美		交代
	３診	リウマチ兼一般	八木田　正人（予約再診）	八木田　正人（予約再診）	旗智　さおり（予約再診）	旗智　さおり（予約再診）	塩見　葵	西田　美和	旗智　さおり（予約再診）	旗智　さおり（予約再診）	八木田　正人（予約再診）	八木田　正人（予約再診）	交代
	４診	血液兼一般	有馬　靖佳	有馬　靖佳	福永　明子	福永　明子	丸山　亙	有馬　靖佳	平田　大二	平田　大二	有馬　靖佳	有馬　靖佳	交代
	５診	腎臓兼一般	武曾　恵理	武曾　恵理	古宮　俊幸	古宮　俊幸	塚本　達雄	塚本　達雄	武曾　恵理	米本　智美	米倉　由利子	米倉　由利子	交代
	６診	糖尿病・内分泌	本庶　祥子	本庶　祥子	越山　裕行	越山　裕行	河崎　祐貴子	河崎　祐貴子	本庶　祥子	浜本　芳之	河崎　祐貴子	池田　弘毅	交代
	７診	専門外来	浜本　芳之	吉永　則良	西田　美和	塚本　達雄	越山　裕行	森　可南子	和田　良春	古宮　俊幸	越山　裕行		
	８診	専門外来	藤川　潤	藤川　潤	交代	森　可南子		武曾　恵理	心療内科	心療内科	立石　悠		
	１８診		旗智　さおり（初診・当日再診）	立石　悠	廣橋　研志郎（初診・当日再診）	廣橋　研志郎			八木田　正人（初診・当日再診）	八木田　正人（予約再診）	西田　美和（初診・当日再診）	１．３　春名　２．４．５　ペースメーカー	
	２１診					ＤＭ外来						ＰＭ外来	
呼吸器センター	９診	呼吸器一般	呼吸器交代	呼吸器交代	呼吸器交代	呼吸器交代	呼吸器交代	呼吸器交代	呼吸器交代	松本　正孝	大政　貫	大政　貫	交代
	１０診	呼吸器一般	瀧　俊彦	瀧　俊彦	福井　基成	福井　基成	瀧　俊彦	瀧　俊彦	福井　基成	福井　基成	福井　基成	福井　基成	交代
	１９診	呼吸器一般	石床　学	石床　学	高松　和史	高松　和史	大政　貢		糸谷　涼	糸谷　涼	井上　大生	櫻本　稔	
	２０診	呼吸器内科	松本　正孝	松本　正孝	櫻本　稔	櫻本　稔	相原　顕作	相原　顕作	鍵岡　均		鈴木　進子	鈴木　進子	
消化器センター	１１診	消化器内科	福永　豊和	福永　豊和	小田　弥生	小田　弥生	川口　清隆	川口　清隆	福永　豊和	福永　豊和	川口　清隆	植山　浩二	交代
	１２診	消化器内科	淺田　全範	淺田　全範	八隅　秀二郎	八隅　秀二郎	藤田　光一	藤田　光一	淺田　全範	淺田　全範	八隅　秀二郎	八隅　秀二郎	
	１３診	消化器内科	吉野　琢哉	吉野　琢哉	山内　淳嗣	山内　淳嗣	牟田　優	牟田　優	高　忠之	高　忠之	吉野　琢哉	吉野　琢哉	
	１４診	消化器外科	門野　賢太郎		上田　修吾		吉村　弥緒		橋田　裕毅		吉田　昌弘		
	１５診	消化器外科	上田　修吾		尾崎　信弘	寺嶋　宏明（予約のみ）	野村　明成		寺嶋　宏明	尾崎　信弘（予約のみ）	橋田　裕毅		1,3,5週　吉冨　4週　井上
	１６診	消化器一般	工藤　寧	工藤　寧	1,3,5週　井上　2,4週　吉冨		山岡　義生　完全予約）（緩和ケア外来）		野村　明成		渡辺　昌樹	渡辺　昌樹	
	１７診	消化器内科	杉浦　寧	杉浦　寧	熊谷　奈苗	熊谷　奈苗	生久間　洋二郎	生久間　洋二郎	加藤　洋子	加藤　洋子	西川　義浩	西川　義浩	
Bブロック（３２５２）			（直通）　泌･６３１２－８８２９　耳･乳外・６３１２－８８３０　小・小外・６３１２－８８２７　夜尿外来　初診の方は要電話										

（別紙１２）

緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ～ 7月31日

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

総数 16

注1）診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。
注2）緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。
注3）記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/入院	主病名	主診療科	診療依頼日	依頼者の所属 自施設/他施設/その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療開始日	診療終了日	診療回数	診療内容
（例）	外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	入院	胃がん	消化器外科	6月5日	自施設	医師	疼痛	6月5日	6月27日	3	疼痛コントロール
2	入院	脈管がん	呼吸器外科	6月14日	自施設	医師	不安	6月14日	6月25日	1	カウンセリング
3	入院	乳がん	乳腺外科	6月14日	自施設	医師	リンパ浮腫	6月14日	6月28日	0	リンパ浮腫ケア
4	入院	乳がん	乳腺外科	6月8日	自施設	医師	不安	6月8日	7月2日	3	カウンセリング
5	入院	胆嚢がん	消化器外科	6月14日	自施設	医師	不安	6月14日	7月13日	8	疼痛コントロール、カウンセリング
6	入院	胃がん	消化器外科	6月15日	自施設	医師	疼痛・不安	6月15日	7月20日	5	疼痛コントロール
7	入院	食道がん	乳腺外科	6月1日	自施設	医師	コンサルテーション	6月1日	6月5日	0	カウンセリング
8	入院	膀胱がん	消化器外科	6月20日	自施設	医師	リンパ浮腫	6月20日	7月22日	0	リンパ浮腫ケア
9	入院	結腸がん	消化器外科	6月22日	自施設	医師	疼痛	6月22日	8月12日	5	疼痛コントロール
10	入院	大腸がん	消化器外科	6月30日	自施設	医師	疼痛	6月30日	7月23日	3	疼痛コントロール
11	入院	胃がん	消化器外科	7月5日	自施設	医師	疼痛・不安	7月5日	8月12日	3	疼痛コントロール
12	入院	十二指腸がん	消化器外科	6月23日	自施設	医師	不安	6月23日	継続中	5	カウンセリング

13	入院	胆管がん	消化器外科	7月7日	自施設	医師	家族のサポート	7月7日	7月21日	2	カウンセリング
14	入院	食道がん	消化器外科	7月8日	自施設	医師	呼吸困難・不安	7月8日	7月16日	1	症状コントロール
15	入院	S状結腸がん	消化器外科	7月15日	自施設	医師	疼痛	7月15日	7月21日	1	疼痛コントロール
16	入院	直腸がん	消化器外科	7月28日	自施設	医師	疼痛・倦怠感	7月28日	8月8日	1	疼痛コントロール
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績　（別紙13）

期間 平成22年 6月 1日　～　7月31日

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

2ヶ月分の総数　9

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間（分）	検討症例数	参加人数	主診療科名	主診療科以外の参加者の診療科名	参加者の職名・職種
（例）	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月7日	60	1	9	皮膚科	呼吸器外科	形成外科医、泌尿器科医、皮膚科医、形成外科医、放射線科医、血液腫瘍科医、呼吸器外科医
2	6月10日	60	5	6	消化器外科	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
3	6月17日	60	6	6	消化器外科	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
4	6月24日	60	6	6	婦人科	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
5	7月1日	60	7	8	消化器外科	麻酔科	麻酔科医、消化器外科医、乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
6	7月8日	60	6	7	泌尿器	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
7	7月15日	60	9	7	泌尿器	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
8	7月22日	60	7	7	消化器内科	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士

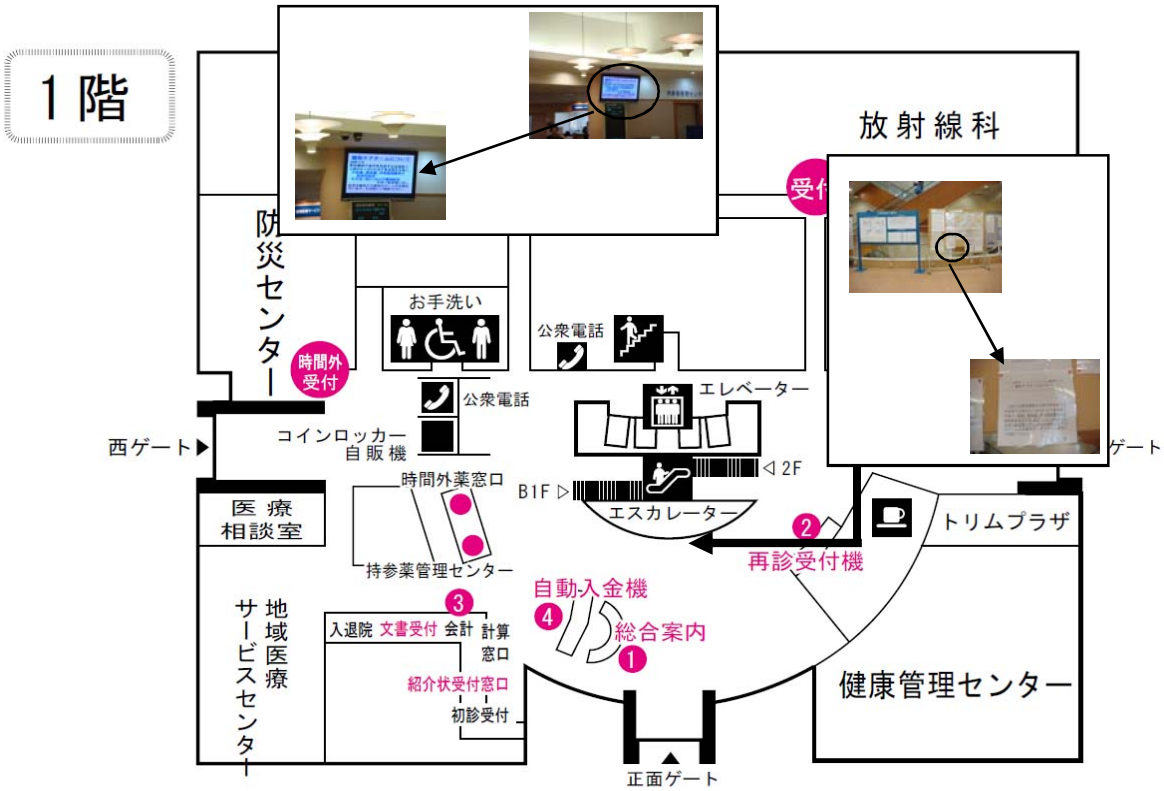
9	7月29日	60	6	6	消化器外科	乳腺外科	乳腺外科部長、精神科医、呼吸器内科医、看護師、臨床心理士
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							

（別紙14）

緩和ケアに関する広報

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等（写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと）



（別紙15）

緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師（＊）の専門性

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	チームでの役割	診療科（医師のみ記載）	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
（例）	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	○○学会認定医（2002年）、同　専門医（2006年）
1	身体症状の緩和に携わる医師	乳腺外科	常勤	兼任	0.6	日本外科学会　外科専門医 指導医 日本乳癌学会　乳腺専門医
2	身体症状の緩和に携わる医師	呼吸器センター（内	常勤	兼任	1.5	なし
3	身体症状の緩和に携わる医師	呼吸器センター（内	常勤	兼任	1.5	なし
4	身体症状の緩和に携わる医師	消化器センター（内	常勤	兼任	19	日本がん治療認定医機構がん治療認定医（2009年）
5	身体症状の緩和に携わる医師	消化器センター（内	常勤	兼任	12	日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2007年)
6	精神症状の緩和に携わる医師	神経精神科	常勤	兼任	1.5	なし
7	精神症状の緩和に携わる医師	神経精神科	常勤	兼任	1.5	なし
8	精神症状の緩和に携わる医師	神経精神科	常勤	兼任	0.6	なし
9	看護師		常勤	専従	10	緩和ケア認定看護師
10	看護師		常勤	兼任	1	癌性疼痛認定看護師
11	看護師		常勤	兼任	10	
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

＊緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師（いわゆる「リンクナース」）を、記載しないようにすること。

病理診断について他の医療機関から協力によって対応できる体制

平成22年1月から12月について記載

病院名 #REF!

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
（例）	○○○病院	○○市○○町○ー○ー○	35人
1	自院において対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

（別紙１７）

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名　　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	職種	診療科	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の経験年数	専門医等資格
（例）	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	○○学会認定医（2002年）、 同　専門医（2006年）
1	医師	臨床病理部	常勤	専従	15年	日本病理学会病理専門医（1998年） 日本臨床細胞学会細胞診専門医（2002年）
2	医師	臨床病理部	常勤	専従	10年	日本病理学会病理専門医（2005年） 日本臨床細胞学会細胞診専門医（2006年）
3	医師	臨床病理部	常勤	専従	4年	日本病理学会病理専門医（2010年）
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任：当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従：当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

（別紙１８）

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 #REF!

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
（例）	25	80	90
	371	307	410

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
（例）	○○診療所	2	4
1	石村内科循環器科	6	6
2	いわいレディースクリニック	6	2
3	中村ファミリークリニック	5	4
4	循環器科・内科不藤医院	5	4
5	国立病院機構大阪医療センター	5	1
6	大阪大学医学部附属病院	5	0
7	大阪市立十三市民病院	5	0
8	多根総合病院	5	0
9	(医)山尾診療所	4	1
10	大阪北逓信病院	4	0
11	大阪市立総合医療センター	4	3
12	きぬがわ内科循環器科	3	6
13	高林有道クリニック	3	2
14	医誠会病院	3	2
15	松下記念病院	3	1
16	(医)篠原医院	3	1
17	扇町レディースクリニック	3	0
18	加納総合病院	3	0
19	中之島クリニック	2	11
20	大阪府立成人病センター	2	9
21	京都大学医学部附属病院	2	6
22	岸本医院	2	4
23	さちこ歯科	2	4
24	磯貝内科	2	3
25	たかばたけウィメンズクリニック	2	3
26	(医)東田クリニック	2	3
27	村川医院	2	1
28	修進会 古河クリニック	2	1
29	児玉医院	2	1
30	桜橋医誠会クリニック	2	1

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	香梅会 マツイ医院	2	1
2	OMMメディカルセンター	2	1
3	和泉市立病院	2	0
4	宝塚市立病院	2	0
5	日生病院	2	0
6	中島クリニック	2	0
7	丹羽整形外科医院	2	0
8	大阪府済生会吹田病院	2	0
9	小野クリニック	2	0
10	耳鼻咽喉科岡部医院	2	0
11	市立角館総合病院	2	0
12	榊原耳鼻咽喉科クリニック	2	0
13	財団法人　住友病院	2	0
14	国立循環器病センター	2	0
15	原医院	2	0
16	近畿中央病院	2	0
17	宮岡クリニック	2	0
18	岡空肛門科	2	0
19	ともだクリニック	2	0
20	ゲートタワーIGTクリニック	2	0
21	かわさき耳鼻咽喉科	2	0
22	かぎおかクリニック	2	0
23	栄ビル池田クリニック	1	5
24	今井クリニック	1	4
25	赤垣婦人科クリニック	1	3
26	関西電力病院	1	3
27	淀川キリスト教病院	1	2
28	津本医院	1	2
29	中村クリニック	1	2
30	川島産婦人科クリニック	1	2
31	瀬田クリニック	1	2
32	澤田内科クリニック	1	1
33	鈴木産婦人科	1	1
34	淀川キリスト教病院　レディース ホスピタル	1	1
35	野崎徳洲会病院	1	1
36	箕面レディースクリニック	1	1
37	浜田病院	1	1
38	迫田クリニック	1	1
39	読売新聞大阪本社診療所	1	1
40	藤川内科クリニック	1	1

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	東淀川病院	1	1
2	大野医院	1	1
3	泉岡医院	1	1
4	川越診療所	1	1
5	西口診療所	1	1
6	市立吹田市民病院	1	1
7	厚生会第一病院	1	1
8	古林医院	1	1
9	玉城クリニック	1	1
10	京都第二赤十字病院	1	1
11	関西医科大学附属枚方病院	1	1
12	河野内科	1	1
13	岡藤クリニック	1	1
14	なかざわ耳鼻咽喉科	1	1
15	てい外科胃腸科	1	1
16	センプククリニック	1	1
17	うえのクリニック	1	1
18	(医)河野医院	1	1
19	矢野眼科	1	0
20	野村證券 大阪健康管理センター	1	0
21	木戸内科医院	1	0
22	豊島産婦人科	1	0
23	米田内科胃腸科	1	0
24	平尾クリニック	1	0
25	府中病院	1	0
26	布施病院	1	0
27	柏原赤十字病院	1	0
28	南川クリニック	1	0
29	南診療所	1	0
30	南森町レディースクリニック	1	0
31	南眼科	1	0
32	畷生会脳神経外科病院	1	0
33	藤井寺市役所健康福祉部健康課	1	0
34	東大阪病院	1	0
35	東阪急ビル診療所	1	0
36	土肥医院	1	0
37	渡部診療所	1	0
38	田村クリニック	1	0
39	津山中央病院	1	0
40	長浜赤十字病院	1	0

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	竹林医院	1	0
2	谷口眼科	1	0
3	辰巳診療所	1	0
4	大阪労働衛生センター第一病院	1	0
5	大阪府立急性期・総合医療センター	1	0
6	大阪府済生会千里病院	1	0
7	大阪府済生会　野江病院	1	0
8	大阪南脳神経外科病院	1	0
9	大阪中央病院健康管理センター	1	0
10	大阪船員保険病院	1	0
11	大阪市立大学医学部附属病院	1	0
12	大阪厚生年金病院	1	0
13	大阪健康倶楽部　関山診療所	1	0
14	大阪回生病院	1	0
15	大阪ガス㈱本社健康管理センター	1	0
16	大橋クリニック	1	0
17	泉内科医院	1	0
18	川島会　小林産婦人科	1	0
19	千船クリニックス	1	0
20	石切生喜病院	1	0
21	杉浦福町診療所	1	0
22	神戸大学医学部附属病院	1	0
23	神戸赤十字病院	1	0
24	森外科クリニック	1	0
25	上原眼科医院	1	0
26	松本クリニック	1	0
27	松井クリニック	1	0
28	小野内科医院	1	0
29	住友生命総合健診システム	1	0
30	酒井医院	1	0
31	若杉耳鼻咽喉科	1	0
32	滋賀医科大学医学部附属病院	1	0
33	寺元記念病院	1	0
34	市立岸和田市民病院	1	0
35	産婦人科くりにっくおがた	1	0
36	山下クリニック	1	0
37	笹生病院	1	0
38	桜橋渡辺病院	1	0
39	桜ノ宮クリニック	1	0
40	阪本胃腸外科クリニック	1	0

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	坂上内科	1	0
2	坂出市立病院	1	0
3	済生会御所病院	1	0
4	高槻赤十字病院	1	0
5	公文医院	1	0
6	五島中央病院	1	0
7	古川内科クリニック	1	0
8	建くりにっく	1	0
9	恵友会 内藤病院	1	0
10	金沢外科胃腸科肛門科	1	0
11	曲直部クリニック	1	0
12	橋本眼科医院	1	0
13	橋本眼科医院	1	0
14	橋内耳鼻咽喉科	1	0
15	協和会北大阪病院	1	0
16	共和病院	1	0
17	京都医療センター	1	0
18	宮下内科	1	0
19	貴和会奥田クリニック	1	0
20	岐阜市民病院	1	0
21	岸本医院	1	0
22	関西医科大学附属滝井病院	1	0
23	革島病院	1	0
24	岡本病院	1	0
25	岡本産婦人科医院	1	0
26	宇野外科整形外科医院	1	0
27	医療法人　寿会　富永病院	1	0
28	医）日本橋病院	1	0
29	医）山中医院	1	0
30	安岡内科医院	1	0
31	愛媛県立中央病院	1	0
32	よしだレディースクリニック	1	0
33	よしおか医院	1	0
34	みとま耳鼻咽喉科	1	0
35	ベルクリニック	1	0
36	ふるおかクリニック	1	0
37	なかじま整形外科	1	0
38	つつみ整形外科・皮膚科	1	0
39	ダイキン工業㈱淀川診療所	1	0
40	セレンクリニック神戸	1	0

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	すま皮膚科クリニック	1	0
2	しんあい病院	1	0
3	こうのレディースクリニック	1	0
4	クリニック石田	1	0
5	くめがわ医院	1	0
6	くぼりクリニック	1	0
7	かわらざき病院	1	0
8	かたやまクリニック	1	0
9	おざわ胃腸科・内科クリニック	1	0
10	おおさか和田クリニック	1	0
11	オークなんばレディスクリニック	1	0
12	えちごクリニック	1	0
13	インフュージョンクリニック	1	0
14	いはら内科	1	0
15	いのうえ診療所	1	0
16	アムスニューオータニクリニック	1	0
17	アベ内科クリニック	1	0
18	アイノクリニック	1	0
19	(医)飯藤産婦人科	1	0
20	(医)中田クリニック	1	0
21	(医)竹村クリニック	1	0
22	(医)大歳内科	1	0
23	(医)蒼龍会　井上病院	1	0
24	(医)西村耳鼻咽喉科	1	0
25	(医)駿真会　高野医院	1	0
26	(医)阪急共栄会 北阪急ビル診療所	1	0
27	東天満クリニック	0	85
28	本出診療所	0	5
29	大阪府済生会中津病院PETセンター	0	3
30	大阪大学医学部附属病院	0	3
31	大阪市立総合医療センター	0	3
32	松岡医院	0	3
33	ふなうち内科クリニック	0	3
34	兵庫県立粒子線医療センター	0	2
35	福効医院	0	2
36	浜松労災病院	0	2
37	南大阪病院	0	2
38	天満中村クリニック	0	2
39	大阪歯科大学附属病院	0	2
40	大原クリニック	0	2

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	鴫野医院	0	2
2	市立芦屋病院	0	2
3	財団法人　住友病院	0	2
4	財）天理よろづ相談所病院	0	2
5	佐々木内科クリニック	0	2
6	今川クリニック	0	2
7	牛尾整形外科	0	2
8	王内科胃腸科クリニック	0	2
9	永山病院	0	2
10	医）明生病院	0	2
11	ひろしば耳鼻咽喉科	0	2
12	なかの内科	0	2
13	(医)中島クリニック	0	2
14	（医）曽根会 曽根病院	0	2
15	（医）正行会永井クリニック	0	2
16	（医）神甲会　隈病院	0	2
17	良元診療所	0	1
18	頼内科胃腸科	0	1
19	末廣医院	0	1
20	本田整形外科内科	0	1
21	北村外科内科	0	1
22	北摂総合病院	0	1
23	朋愛病院	0	1
24	兵庫県立尼崎病院	0	1
25	兵庫県立西宮病院	0	1
26	兵庫県立がんセンター	0	1
27	兵庫医科大学病院	0	1
28	福本内科クリニック	0	1
29	姫島診療所	0	1
30	梅沢内科・循環器科	0	1
31	日本医科大学千葉北総病院	0	1
32	奈良社会保険病院	0	1
33	奈良県立医科大学附属病院	0	1
34	徳永歯科診療所	0	1
35	得能クリニック	0	1
36	藤野医院	0	1
37	土庫病院	0	1
38	都島放射線科クリニック	0	1
39	都島休日急病診療所	0	1
40	田辺三菱製薬（株）本社診療所	0	1

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	田畑クリニック	0	1
2	田中医院	0	1
3	田中クリニック	0	1
4	長井医院	0	1
5	中谷医院	0	1
6	中井クリニック	0	1
7	茶屋町レディースクリニック	0	1
8	竹田歯科医院	0	1
9	谷本大島橋診療所	0	1
10	辰見クリニック	0	1
11	大野眼科医院	0	1
12	大谷医院	0	1
13	大阪府済生会中津病院	0	1
14	大阪市立十三市民病院	0	1
15	大阪高島屋診療所	0	1
16	大阪暁明館病院	0	1
17	太田診療所	0	1
18	増田内科医院	0	1
19	赤垣クリニック	0	1
20	西診療所	0	1
21	西小路中井医院	0	1
22	西眼科病院	0	1
23	聖授会OCATクリニック	0	1
24	正美会　安藤医院	0	1
25	須澤クリニック	0	1
26	神戸逓信病院	0	1
27	神戸市立医療センター中央市民病院	0	1
28	森内科小児科	0	1
29	植原内科	0	1
30	城東医誠会クリニック	0	1
31	松崎医院	0	1
32	小溝クリニック	0	1
33	順心病院	0	1
34	守口生野記念病院	0	1
35	篠原医院	0	1
36	滋賀県立成人病センター	0	1
37	市立豊中病院	0	1
38	市立貝塚病院	0	1
39	山本内科	0	1
40	山本診療所	0	1

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	山村クリニック	0	1
2	三浦クリニック	0	1
3	堺医院	0	1
4	阪和住吉総合病院	0	1
5	阪本医院	0	1
6	坂本内科クリニック	0	1
7	国立病院九州医療センター	0	1
8	高山クリニック	0	1
9	荒木医院	0	1
10	甲田クリニック	0	1
11	弘田医院	0	1
12	向井医院	0	1
13	近畿大学医学部附属病院	0	1
14	玉村歯科	0	1
15	宮原レディスクリニック	0	1
16	宮岡クリニック	0	1
17	久保医院	0	1
18	貴生病院	0	1
19	関西労災病院	0	1
20	関西医科大学附属香里病院	0	1
21	蒲生厚生診療所	0	1
22	梶田内科	0	1
23	学園前診療所	0	1
24	花田内科	0	1
25	加藤クリニック	0	1
26	何クリニック	0	1
27	岡山大学医学部・歯学部附属病院	0	1
28	王子クリニック	0	1
29	塩見クリニック	0	1
30	遠藤クリニック	0	1
31	稲田内科	0	1
32	医療法人　井上クリニック	0	1
33	医真会総合クリニックス	0	1
34	医）神子田医院	0	1
35	安達クリニック	0	1
36	愛媛大学医学部附属病院	0	1
37	わかい内科循環器科	0	1
38	ヤマダ医院	0	1
39	ヒグチ歯科医院	0	1
40	はせがわ診療所	0	1

病院名 #REF!

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	なんば胃腸科内科	0	1
2	ナベヤクリニック	0	1
3	なお眼科クリニック	0	1
4	ツヂ病院	0	1
5	しばさきクリニック	0	1
6	クリニックこまつ	0	1
7	きど内科小児科クリニック	0	1
8	おぐる医院	0	1
9	インフュージョンクリニック	0	1
10	いそわクリニック	0	1
11	イークリニック	0	1
12	OCAT予防医療センター	0	1
13	CSクリニック	0	1
14	(医)猪妻医院	0	1
15	(医)大歳内科	0	1
16	(医)石井クリニック	0	1
17	(医)松本内科クリニック	0	1
18	(医)妻鹿整形外科	0	1
19	(医)越田クリニック	0	1
20	(医)医伸会 高岡クリニック	0	1
21	(医)さるまるクリニック	0	1
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

（別紙19）

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
（例1）	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
（例2）	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
2	4月22日	2時間	CPC	二次医療圏内	北野病院第１会議室	30人	抗癌剤加療中に発症した敗血症の一例
3	7月22日	2時間	CPC	二次医療圏内	北野病院第１会議室	30人	肺野空洞病変に腸閉塞を合併した一例
4	6月24日	1時間	第１回大阪市北区がん診療連携クリニカ	大阪市北区お	北野病院きたのホー	15人	がん診療地域連携クリニカルパス検討
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

（別紙20）

5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	いいえ
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	はい
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	いいえ
5	上記の内容を掲載しているページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/nenpou/jimubu_pdf/h20/chiiki.pdf

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 （対応可・対応不可）	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 （あり・なし）	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	あり	呼吸器センター	5	肺癌診断・治療
胃がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	3 2	内視鏡的切除術(EMR, ESD) 腹腔鏡手術 開腹手術 化学療法
大腸がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	3 3	内視鏡的切除術(EMR, ESD) 腹腔鏡手術 開腹手術 化学療法
肝がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	3 1	経皮的治療(RFA, PEIT) 経動脈的治療(TACE、動注) 腹腔鏡補助下肝切除術 開腹手術 化学療法

乳がん	対応可	あり	乳腺外科	1	乳腺疾患 診断・治療

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 （対応可・対応不可）	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 （あり・なし）	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
脳腫瘍	対応可	あり	脳神経外科	2	グリオーマ、髄膜腫、神経鞘腫、転移性脳腫瘍、胚細胞腫など
脊髄腫瘍	対応可	なし	脳神経外科	2	グリオーマ、髄膜腫、神経鞘腫など
眼、眼窩腫瘍	対応可	なし	眼科	1	眼・眼窩腫瘍
頭頸部がん	対応可	なし	耳鼻咽喉科	1	側頭骨・頭蓋底外科学 頭頸部再生医療
甲状腺がん	対応可	あり	耳鼻咽喉科	1	側頭骨・頭蓋底外科学 頭頸部再生医療
食道がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	3 2	内視鏡的切除術(EMR, ESD) 鏡視下手術 開腹開胸手術 放射線化学療法
縦隔腫瘍	対応可	なし	呼吸器センター	2	呼吸器外科 呼吸器内科全般
中皮腫	対応可	なし	呼吸器センター	2	呼吸器外科 呼吸器内科全般

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 （対応可・対応不可）	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 （あり・なし）	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
膵がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	2 1	内視鏡的診断治療（ERCP, EUS-FNA） 開腹手術 放射線化学療法 化学療法
胆道がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	2 1	内視鏡的診断治療（ERCP, EUS-FNA） 開腹手術 放射線化学療法 化学療法
十二指腸・小腸がん	対応可	あり	消化器センター内科 消化器センター外科	2 2	内視鏡的乳頭切除術 開腹手術 化学療法
腎がん	対応可	あり	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
膀胱がん	対応可	あり	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
副腎腫瘍	対応可	あり	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
前立腺がん	対応可	あり	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
精巣がん	対応可	あり	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	4	泌尿器悪性腫瘍

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 （対応可・対応不可）	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 （あり・なし）	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
子宮がん	対応可	あり	産婦人科	4	頸がんの手術、放射線、化学療法。機能温存手術。 体癌についても手術、放射線、化学療法、ホルモン療法
卵巣がん	対応可	あり	産婦人科	4	手術療法、化学療法。再発癌の治療。
その他の女性生殖器がん	対応可	あり	産婦人科	4	腹膜癌、絨毛性疾患、外陰癌の全般的な治療。
皮膚腫瘍	対応可	なし	形成外科 皮膚科	2 1	手術治療
悪性骨軟部腫瘍	対応不可				
血液腫瘍	対応可	あり	血液内科	1	臨床血液学 造血幹細胞移植
小児固形腫瘍	対応可	なし	小児科	1	血液・腫瘍
小児血液腫瘍	対応可	なし	小児科	1	血液・腫瘍
原発不明がん	対応可	なし	消化器センター 産婦人科 脳神経外科 呼吸器センター 耳鼻咽喉科	3 2 1 2 1	化学療法 グリオーマ、髄膜腫、神経鞘腫など
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	なし	呼吸器センター	2	呼吸器外科 呼吸器内科全般
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応可	なし	消化器センター内科 消化器センター外科	2 2	内視鏡的診断（EUS-FNA） 内視鏡＋腹腔鏡共同手術（LECS） 腹腔鏡手術 開腹手術

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 （対応可・対応不可）	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 （あり・なし）	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応可	なし	呼吸器センター 消化器センター 乳腺外科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 産婦人科 血液内科 小児科	2 3 1 1 1 1 1 1 1	癌診断・治療 化学療法
放射線療法	対応可	あり	放射線科	2	放射線治療全般
緩和ケア	対応可	なし	消化器センター	2	緩和ケア

（別紙21）

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

実施方法	その他	（一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他）
その他の場合	担当する医師と患者の都合をその都度調整	
セカンドオピニンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	地域医療サービスセンター	
電話番号	06-6131-2955	
FAX番号	06-6312-8620	
e-mail	renkei@kitano-hp.or.jp	
対応時間	8:45-16:53	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	（受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他）
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	（可、本人の同意があれば可、不可）
通常料金	31500 円	
超過料金	0 円	
その他の料金 （詳細と金額）	0 円	
相談時間の制限	なし	（あり、なし）
制限がある場合の時間（分）		分

（別紙22）

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 #REF!

件数 1

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回　10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日　9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	リンパ浮腫教室	毎月第4土曜	会議室	婦人科がん・乳がん・前立腺がん等の手術後にリンパ浮腫を発症した方	専門研修を終了したセラピストによる講演	あり
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

（別紙23）

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

平成21年11月～22年8月の間に実施されたもの

病院名 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	参加済/協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/協力人数（人）	内容
（例）	参加済	4月5日	2日間	○○病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	○○病院	講義＋ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
（例）	協力済	8月3日	2日間	大阪○○緩和ケア研修会	○○病院	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの ○○の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	7月31日	2日間	大阪きた緩和ケア研修会	北野病院	講義＋ワークショップ	10	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2	協力済	7月31日	2日間	大阪きた緩和ケア研修会	北野病院	講義＋ワークショップ	2	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 主催責任者および消化器症状の講義に自院の医師が講師として協力
3	参加済	5月6日	3日間	緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会	千葉県	講義＋ワークショップ	1	緩和ケア指導者研修会
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。
※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成20年4月1日付け健発第0401016号）で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

（別紙24）

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	参加済/協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力人数（人）	内容
（例）	協力済	4月12日	2時間	××病院 胃X線読影研修会	二次医療圏内医師	XX病院会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影のポイントに関する研修へ講師として派遣
（例）	参加済	8月11日	1時間	○○セミナー	二次医療圏内医師・看護師	○○病院	講義	4	○○についてのセミナーを受講
1	参加済	6月1日	1日	がん相談支援センター相談員基礎研修②	がん相談支援業務	東京	講義	1	がん相談支援業務上必要となる基礎的知識・技能の要点を習得
2	参加済	8月29日	1日	相談支援センター相談員基礎研修会（3）		関西労災	講義	1	がん相談支援業務上必要となる基礎的知識・技能の要点を習得
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

（別紙25）

国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況

平成22年4月～23年8月の間に実施されたもの

病院名　　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数（人）	内容
（例）	4月20日	2時間	○○病院実施　××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	6月19日	2時間30分	大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会	大阪府がん診療拠点病院	大阪府立成人病センター	1	国立がんセンターが作成した『患者必携』のうち、『地域の療養情報』として載せるべき内容を検討し、基本的な内容のみを載せる方向でワーキンググループを作って検討を続ける方針となった。
2	7月8日	1時間	大阪府がん診療連携協議会　第1回地域連携パス部会	大阪府がん診療拠点病院	KKRホテル大阪	3	大阪府がん診療連携パスの進捗、問題点等に関すること。
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

（別紙26）

相談支援窓口の相談対応状況

期間　平成22年9月1日現在

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

相談支援窓口の名称	がん診療連携相談支援センター	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	06-6131-2555	
電話相談の電話番号		上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口		例：医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月～金：9:00～16:30　土（第二土曜除く）：9:00～12:00 （年末年始・祝日を除く）	
対面相談の 対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の 対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	（実施、未実施）
予約の要否	必要	（必要、不要）
時間制限の有無	あり	（あり、なし）
制限がある場合の時間（分）	60	
電話相談の実施	実施	（実施、未実施）
予約の要否	不要	（必要、不要）
時間制限の有無	あり	（あり、なし）
制限がある場合の時間（分）	20	
FAX相談の実施	未実施	（実施、未実施）
FAX相談のためのFAX番号		
e-mail相談の実施	未実施	（実施、未実施）
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	ソーシャルワーカー、看護師	
ピアサポート提供の有無	なし	（あり、なし） ※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		
相談者が利用できる資料	図書、雑誌、ビデオ、DVD、パンフレット、インターネット	例：図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数（冊）	169	※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	可	（可、不可）
地域の患者会の情報提供の有無	あり	（あり、なし）
提供可能な地域の患者会の数	9	

（別紙27）

相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
（例）	XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1	リンパ浮腫の会	2ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催しその中で相談会も実施している。	あり
2	北野病院　クレソンの会	今後、患者会と共同で勉強会を開催し、その中で相談会を実施していく予定。	なし
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間　平成22年9月1日現在

病院名　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1）または2）がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1）自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療サービスセンター
	電話	06-6131-2955
	FAX	06-6312-8620
	電子メール	
	受付時間	午前9時～午後4時45分（月～金）、午前9時～午後2時30分（土）
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/local/soudan.html#s
2）自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療サービスセンター
	電話	06-6131-2955
	FAX	06-6312-8620
	電子メール	
	受付時間	午前9時～午後4時45分（月～金）、午前9時～午後2時30分（土）
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/local/soudan.html#s

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2）または3）がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1）緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
2）自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	がん診療連携相談支援センター
	電話	06-6131-2555
	FAX	06-6131-2556
	電子メール	
	受付時間	9:00～16:00
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/gankyoten/index.htm
3）自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	がん診療連携相談支援センター
	電話	06－6131－2555
	FAX	06－6131－2556
	電子メール	
	受付時間	9:00～16:00
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/gankyoten/index.htm

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	北野病院　1階治験相談室
	電話	06-6312-1221
	FAX	未公開
	電子メール	未公開
	受付時間	平日　午前9時から午後5時
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/section/yakuzai/chiken_index.html
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	北野病院　1階治験相談室
	電話	06-6312-1221
	FAX	未公開
	電子メール	未公開
	受付時間	平日　午前9時から午後5時
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/section/yakuzai/chiken_index.html

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1.ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1)ストーマ外来がある		はい
2)ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
3)自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族に向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	皮膚排泄ケア認定看護師 及び 外来看護師
	電話	06-6312-1221
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	水・金曜日 9:00～12:00、13:00～15:00（完全予約制）、他施設で診療を受けている患者さんは消化器センターの受診が必要
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kango/index5.html
4)自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	皮膚排泄ケア認定看護師 及び 外来看護師
	電話	06-6312-1221
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	水・金曜日 9:00～12:00、13:00～15:00（完全予約制）、他施設で診療を受けている患者さんは消化器センターの受診が必要
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/section/kango/index5.html

2.リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3)または4)がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1)リンパ浮腫外来がある		はい
2)リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
3)自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療サービスセンター
	電話	06-6131-2955
	FAX	06-6312-8620
	電子メール	renkei@kitano-hp.or.jp
	受付時間	8:45～16:30
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/local/index.html
3)自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療サービスセンター
	電話	06-6131-2955
	FAX	06-6312-8620
	電子メール	renkei@kitano-hp.or.jp
	受付時間	8:45～16:30
	ホームページのURL	http://www.kitano-hp.or.jp/local/index.html

（別紙29）

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録　標準登録様式　2006年度版修正版

2006年度版修正版項目
◆　:必須項目
●　:標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

大項目	項目番号	項目名		必須／標準の別	登録している項目
基本情報	10	患者ID番号		◆ ●	○
	20	重複番号		●	○
	40	氏名		◆ ●	○
	50	性別		◆ ●	○
	60	生年月日		◆ ●	○
診断情報	90	診断時都道府県コード		●	○
	100	診断時住所（詳細）		●	○
	101	診断時住所（市区町村）		◆	○
	110	当該腫瘍初診日		●	○
	130	診断日1（他施設診断日）		●	○
	140	診断日2（自施設診断日）		●	○
	141	診断日		◆	○
	150	来院経路		●	○
	152	発見経緯		●	○
	153	来院・発見の経緯		◆	○
	160	診断区分（診断結果）		●	○
	161	診断施設		●	○
	170	治療方針		●	○
	180	症例区分		●	○
	182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別		◆	○
腫瘍情報	200	診断名コード		◆ ●	○
	210	診断名テキスト		◆ ●	○
	220	部位の側性		●	○
	230	治療前	ステージ（治療前・UICC）	●（5部位）	○
	231		治療前のステージ（主要5部位）	◆（5部位）	○
	232		ステージ（治療前・取扱い規約）	●（肝がん）	○
	240		TNM分類（UICC）T分類	●（5部位）	○
	250		TNM分類（UICC）N分類		○
	260		TNM分類（UICC）M分類		○
	270	術後病理学的	ステージ（術後病理学的・UICC）	●（5部位）	○
	280		pTNM分類（UICC）pT分類	●（5部位）	○
	290		pTNM分類（UICC）pN分類		○
	300		pTNM分類（UICC）pM分類		○
腫瘍情報	310	進展度（治療前）		●	○
	320	進展度（術後病理学的）		●	○
	330	組織診断名コード		◆ ●	○
	340	組織診断名テキスト		◆ ●	○
	350	診断根拠		●	○
	351	病理組織標本由来		●	○
	352	診断に寄与した検査		◆	○
	460	外科的・内視鏡的・体腔鏡的治療	外科的治療の有無	◆ ●	○
	480		体腔鏡的治療の有無	◆ ●	○
	500		内視鏡的治療の有無	◆ ●	○
	520		外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
	530	入院日（初回治療）		●	○
	550	その他の治療	放射線治療	◆ ●	○
	560		化学療法	◆ ●	○
	570		免疫療法・BRM	●	○
	580		内分泌療法	●	○
	590		TAE	●	○
	600		PEIT	●	○
	610		温熱療法	●	○
	620		レーザー等治療（焼灼）	●	○
	629		その他の治療	●	○
予後情報	640	生存最終確認日		◆ ●	○
	650	死亡日		◆ ●	○
	660	予後調査結果		●	×
	720	予後調査方法		●	×
その他	860	登録日		●	○
	861	最終更新日		◆	○
	870	定義バージョン		●	○

※ 項目の定義については、
「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること
http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

（別紙30）

患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名　　財団法人田附興風会医学研究所北野病院

	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加人数	講師	内容
（例）	4月26日	3時間	＊＊病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	200人	院内1人 院外2人	科学的根拠に基づくがん検診について
1	6月26日	1時間	市民医療講座	北野病院 きたのホール	セミナー	25人	院内1人	人間ドック 『がん と メタボリックシンドロームの早期発見』
2	7月3日	2時間	消化器病教室	北野病院 きたのホール	セミナー	8人	院内4人	①脂肪肝　②膵臓癌 ③潰瘍性大腸炎　④ワンポイント栄養指導
3	7月9日	1時間	北野健康クラブ懇談会	北野病院 きたのホール	セミナー	30人	院内2人	「腎癌に対する腎温存手術」 「乳がんのホルモン療法の現状と当科の取り組
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

（別紙31）

府民へのメッセージ

財団法人田附興風会医学研究所北野病院

府民へのメッセージ（各項目200字以内）

大阪府がん診療拠点病院として
近年、がん治療は飛躍的に進歩しており、治療の選択肢も増えてきております。そのこと自体は喜ばしいことですが、反面、どの治療が最良か悩むことも増えています。また、治療の長期化により、経済的負担や副作用、将来への不安など患者様の抱える悩みは多様化しています。当院ではその悩みに応え、安心して治療を受けていただけるよう医師だけでなく、多くの専門職がチームとして対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

がん診療に関する当院の特長
当院では主治医、手術を担当する外科医、放射線治療専門医等で治療法を十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。 早期がんに対する機能温存、低侵襲手術を積極的に導入し、進行がんに対しては化学療法、放射線治療を併用する集学的治療に取り組んでおります。 放射線治療は専門医が専任技師と協力して安全かつ効果的な治療を提供できる体制を整備しており、化学療法としては外来化学療法室を整備しております。

相談支援窓口について
がん診療連携相談支援センターを中心に、患者様やご家族を取り巻く多様な問題の解決にむけたお手伝いをしております。ソーシャルワーカーや看護師が窓口となり、内容によっては緩和ケアや化学療法専門の看護師など他の専門職と連携して相談にあたっています。治療への疑問、不安のほか、経済的な問題や在宅療養に関する相談も対応しております。当院の患者様はもちろん、他院で治療されておられる患者様もお気軽にご相談ください。

緩和ケアの提供体制について
当院では緩和ケアチームを中心とし、入院、外来を問わず、がん患者様の身体的、精神的苦痛の緩和に取り組んでいます。職員全員に緩和治療の意義を教育することを通じて、症状を我慢しておられる方に少しでも早く気づき、主治医やチームに情報が伝わることを目指しています。チームは医師、認定看護師、薬剤師、管理栄養師等が含まれ、患者様お一人お一人の状況にあわせた対応を主治医と連携して提供するように努めています。